Panasonic®

取扱説明書

パーソナルコンピューター

品番 **CF-W4 シリーズ**

説明書の種類

紙で見る

はじめに読む

『ご使用の前に』

最初に「付属品を確認する」で付属品を確認してください。

次に読む

『取扱説明書』（本書）

必要なときに読む

『困ったときの Q&A』
『無線 LAN 接続ガイド』

（機種によっては、『無線 LAN 接続ガイド』が付属していない場合があります）

画面で見る

『操作マニュアル』

周辺機器の使用方法や省電力機能など、本機をより活用するための機能を説明しています。

『セキュリティガイド』

本機のセキュリティ機能について説明しています。

『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』

内蔵セキュリティチップ（TPM）のインストール方法などを説明しています。

『バッテリー等の上手な使い方』

バッテリーをできるだけ長持ちさせ、駆動時間を長くする方法などを説明しています。

『内蔵モデムコマンド一覧』

モデムの設定で使用するコマンドの一覧です。

画面で見るマニュアルの見かた：12 ページ

この表示は、DVD-RAM ディスクに VR フォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で映像・音声を記録する機能または、VR フォーマットで記録された DVD-RAM ディスクの再生機能をあらわします。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（6 ～ 9 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

もくじの見かた		
	..............4：本書の 4 ページをご覧ください。	
	...............『ご使用の前に』：付属の『ご使用の前に』をご覧ください。	
	...............『困ったときの Q&A』：付属の『困ったときの Q&A』をご覧ください。	
	⇒『操作マニュアル』第 2 章	画面で見る『操作マニュアル』の第 2 章をご覧ください。 起動方法：⇒ 12 ページ
	⇒『セキュリティガイド』	画面で見る『セキュリティガイド』をご覧ください。 起動方法：⇒ 12 ページ

まず準備

使ってみる（基本的な操作）

使ってみる（CD/DVD を使う）

- 内蔵 CD/DVD ドライブのドライブ文字を変更する
- CD/DVD ドライブの電源をオン／オフする

⇒『**操作マニュアル**』**第 3 章**

CD の種類について

- 本機で使える CD
- ディスクに書き込みや書き換えを行うとき
- ディスクの取り扱い

⇒『**操作マニュアル**』**第 3 章**

DVD の種類について

- 本機で使える DVD
- リージョンコードについて

⇒『**操作マニュアル**』**第 3 章**

ディスクのセット／取り出し

- ディスクカバーが開かないとき

⇒『**操作マニュアル**』**第 3 章**

DVD-Video を見る（WinDVD）

- 起動のしかた
- 使用上のお願い
- CPRM で録画したメディアを再生する
- DVD レコーダーなどで作成した DVD の再生について
- オンラインヘルプの見かた
- こんなときは ...

⇒『**操作マニュアル**』**第 3 章**

CD/DVD にデータを書き込む（B's Recorder/B's CLiP を使う）

- オンラインヘルプの見かた
- 使用上のお願い
- B's Recorder/ タスゲートで CD/DVD にデータを書き込む
- B's CLiP で CD/DVD にデータを書き込む
- DVD-Video を作成する
- 書き込み時に使用する作業用フォルダーを変更する
- B's Recorder を使用して起動（ブート）可能な CD/DVD を作成する
- こんなときは ...

⇒『**操作マニュアル**』**第 3 章**

VR モードで DVD-RAM を編集する（MovieAlbum を使う）

- オンラインマニュアルの見かた
- 起動のしかた
- 使用上のお知らせ

⇒『**操作マニュアル**』**第 3 章**

使ってみる（カードや周辺機器を使う）

PC カードを使う

- PC カードの取り付け／取り出し

⇒『**操作マニュアル**』**第 4 章**

SD メモリーカードを使う

- SD メモリーカードの取り付け／取り出し

⇒『**操作マニュアル**』**第 4 章**

SD メモリーカードによるセキュリティ機能

- はじめて SD メモリーカードのセキュリティ設定を行う
- 設定内容を変更する／他の SD メモリーカードを設定する
- こんなときは ...
- セキュリティ機能を設定した SD メモリーカードを紛失したら

⇒『**操作マニュアル**』**第 4 章**

外部ディスプレイを接続する

- 接続する
- 表示先を切り替える
- 拡張デスクトップモードについて

⇒『**操作マニュアル**』**第 4 章**

USB 機器を接続する（外部マウスなど）

- USB 機器の取り付け／取り外し
- 外部マウスを使うとき
- USB フロッピーディスクドライブを使うとき
- プリンターを使うとき

⇒『**操作マニュアル**』**第 4 章**

もくじ

使ってみる（通信する）

使ってみる（本機の設定を変更する）

守って快適に

困ったときは

大切な情報

便利な情報

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

● 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

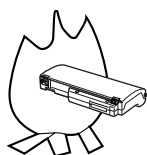
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

まず準備

バッテリーパックに関する注意

⚠ 危険

火中に投入したり加熱したりしない

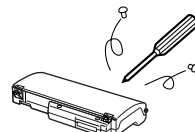
禁止

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管したりしない

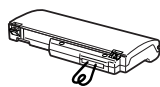
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

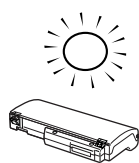
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(+)とマイナス(−)を金属などで接触させない

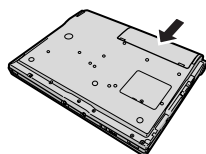
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

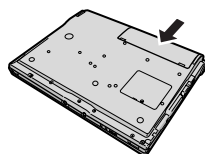
火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-W4 シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

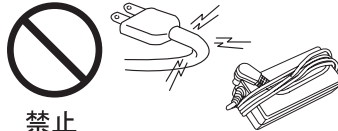
異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・煙が出ている　・異臭がする
・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

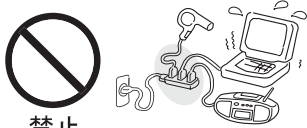
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠ 警告
高電圧に注意
本機を分解･改造しない

［本体に表示した事項］

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

禁止

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

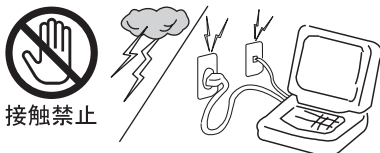
● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

SDメモリーカード（別売り）は、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴りはじめたら、本機やケーブルに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る[*1]

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る[*1]（手術室、集中治療室、CCU[*2]等には持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る[*1]

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*1 やむをえずこのような環境でコンピューター本体を使用するときは、無線 LAN 切り替えスイッチを左（OFF 側）にスライドして無線 LAN の電源を切ってください。ただし、航空機の離着陸時など、無線LANの電源を切ってもコンピューターの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

*2 CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

ふとんや毛布などをかぶせたまま使用しない

禁止

内部に熱がこもり、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

⚠ 注意

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

禁止

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 100 BASE-TX、10 BASE-T 以外のネットワーク
- 電話回線（IP 電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話 など）

モデムは一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話に接続したり、本機で対応していない国や地域[3]で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機や AC アダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど[4]の原因になります。

[3] 本機のモデムが対応している国や地域については 62 ページをご覧ください。

[4] 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

CD/DVDドライブの内部をのぞきこまない

禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

- 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

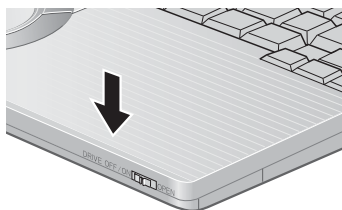
ひび割れたり変形したりしたディスクは使用しない

禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

- 円形でないディスクや、接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので、使用しないでください。

本装置はレーザー利用機器です。ご注意 - ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被曝をもたらします。分解や修理は行わないでください。

使用上のお願い

◆ ディスクカバーを閉じるとき

- ドライブ電源／オープンスイッチの左上付近（矢印の位置）を押してロックされたことを確認してください。

◆ CPRMで録画されたメディアの再生について

- CPRM とは、「1 回だけ録画可能」として録画制限のかかっているデジタル放送を DVD レコーダーで DVD-RAM、DVD-R および DVD-RW に録画する際に用いられる著作権管理技術のことです。本機で再生するには、WinDVD に CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込む[*1] 必要があります。

  （➔ 『操作マニュアル』「第 3 章：DVD-Video を見る（WinDVD）」）
- WinDVD、CPRM 拡張機能など、InterVideo 社からの最新情報は次の Web ページから入手できます。
  http://www.intervideo.co.jp/matsushita_sp

*1 インターネットへ接続できる環境が必要です。

◆ 使用中にコンピューターが熱いと感じたら

- CPU の動作などによりコンピューターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 次の設定を行うと、コンピューター内部の発熱を下げることができます。
  - [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックし、[電源設定] を [バッテリの最大利用] に設定する。
  - 3D グラフィックスを利用したスクリーンセーバーを使っている場合は、他のスクリーンセーバー（例：[Windows XP]、[ブランク]）に変更する。
    スクリーンセーバーを変更するには、デスクトップを右クリックし、[プロパティ] - [スクリーンセーバー] をクリックし、スクリーンセーバー名をクリックしてください。

◆ 気温が高い場所でお使いになる場合

- 気温が高い場所で連続してお使いの場合、コンピューター内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。
- 気温が高い場所で連続して DVD への書き込みを行った場合、書き込み時間が長くなることがあります。
  その場合は、DVD への書き込みの間隔をあけてお使いください。

◆ プロダクトリカバリー DVD-ROMは大切に保管してください

- 万一紛失されますと、再インストールなどが行えません。この場合は有償にて対応いたしますので、ご相談窓口にお問い合わせください。

表記について

表記	表記の意味
【Enter】	キーボードの Enter キーを押すこと。
【Fn】 + **【F5】**	キーボードの Fn キーを押しながら、F5 キーを押すこと。**【Fn】**と**【Ctrl】**（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➔ 39 ページ）は、**【Fn】**と**【Ctrl】**を置き換えてご覧ください。
[スタート] - [検索]	画面上の [スタート] をクリックした後、[検索] をクリックすること。
➔	参照先
	画面で見るマニュアルのこと。

- 本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。制限付きアカウントのユーザーや Guest アカウントで実行できない機能があったり、画面表示が本書と違ったりする場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。

- 本書では、「Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を「Windows」と表記します。

- 本書では、内蔵の「スーパーマルチドライブ」を「CD/DVD ドライブ」と表記します。

- 本書では、次のソフトウェアを省略して表記します。
  - 「WinDVD™ 5（OEM 版）」を「WinDVD」
  - 「B's Recorder GOLD8 BASIC」を「B's Recorder」
  - 「B's CLiP 6」を「B's CLiP」
  - 「DVD-MovieAlbumSE4」を「MovieAlbum」

- 別売りの商品について
  本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

画面で見るマニュアルの見かた

次のマニュアルは、本機に保存されていて、「はじめて使うとき」の設定（➔ 15 ～ 18 ページ）が終わった後起動して、見ることができます。

- PDF 形式の説明書（下記）をはじめて起動したとき、Adobe Reader の「エンドユーザ使用許諾契約書」画面が表示された場合は内容を確認のうえ、[同意する] をクリックしてください。
- Adobe Reader の使い方は、Adobe Reader のヘルプを参照してください。

◆『操作マニュアル』を見る

1 [スタート] - [操作マニュアル]をクリックする。

◆『バッテリー等の上手な使い方』を見る

1 デスクトップの バッテリー等の上手な使い方 をダブルクリックする。

または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [バッテリー等の上手な使い方]をクリックしてください。

◆『セキュリティガイド』／『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』を見る

1 デスクトップの セキュリティガイド をダブルクリックする。

- デスクトップに セキュリティガイド がない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [セキュリティガイド] をクリックしてください。
- 『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』については、『セキュリティガイド』をご覧ください。

◆『内蔵モデムコマンド一覧』を見る

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [内蔵モデムコマンド一覧]をクリックする。

◆ Windowsのヘルプを見る

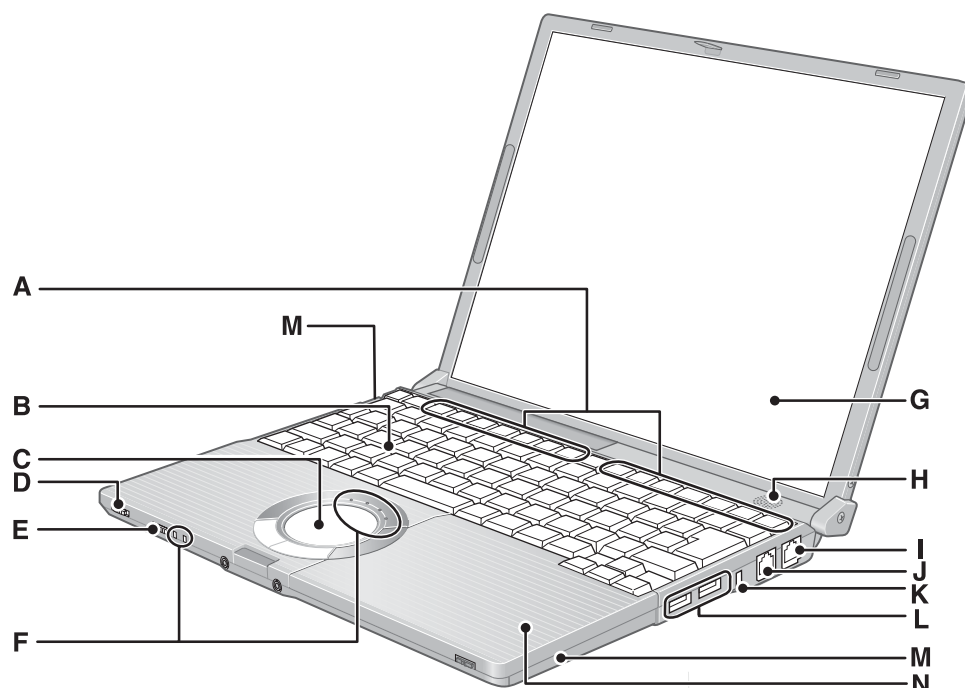
1 コンピューターの管理者の権限でログオンし、[スタート] - [ヘルプとサポート]をクリックする。

（制限ユーザーでログオンすると、一部参照できないページがあります。）

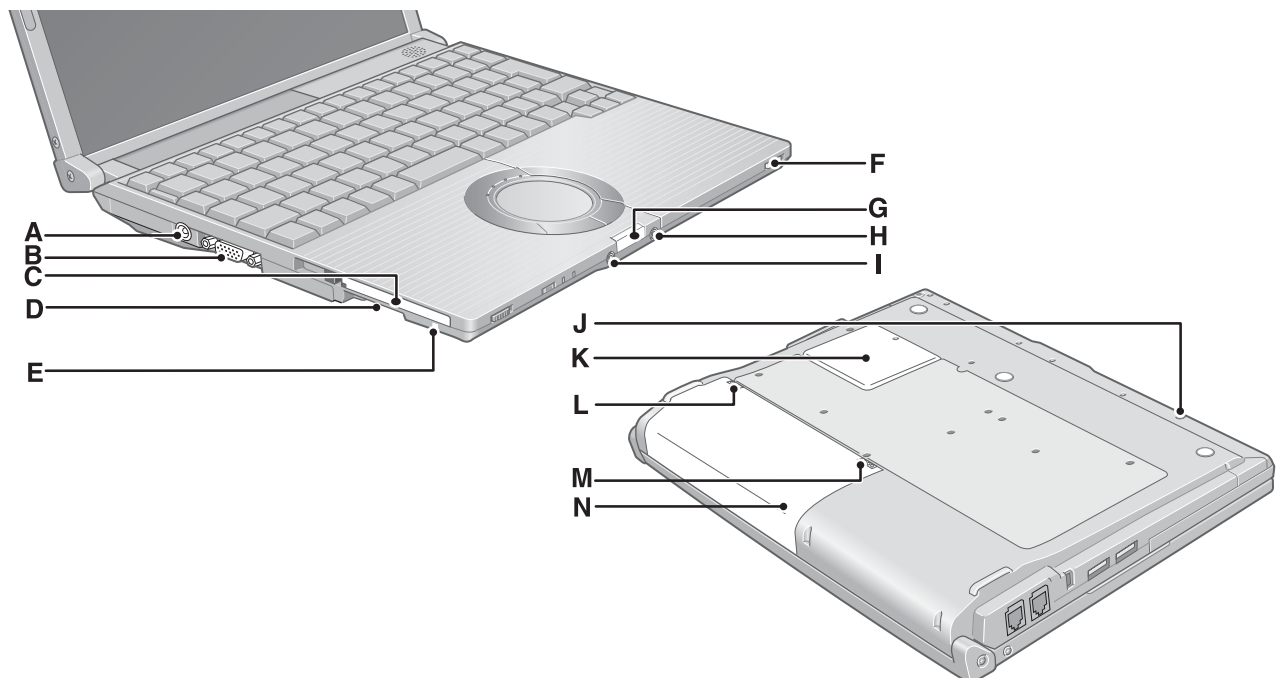
お知らせ

- PDF 形式の説明書を印刷するときに左の画面（英語）が表示された場合、次の手順でプリンタードライバーをインストールしてください。
  ① [OK]をクリックし、左の画面を閉じる。
  ② [スタート] - [プリンタとFAX]をクリックする。
  ③ [プリンタのインストール]をクリックする。
  以降、画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。

各部の名称と働き

	名　称	働き／参照先
A	ファンクションキー	【Fn】キーと組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➔　25 ページ
B	キーボード	—
C	ホイールパッド	➔　24 ページ
D	電源スイッチ／ 電源状態表示ランプ	約 1 秒間スライドすると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。 （電源スイッチ ➔　22 ページ／電源状態表示ランプ ➔　26 ページ）
E	無線 LAN 切り替えスイッチ　WIRELESS LAN	無線 LAN の電源を入れる（右側）／切る（左側）を切り替えます。➔　35 ページ
F	状態表示ランプ ECO	➔　26 ページ

G	ディスプレイ（内部 LCD）	明るさ調整：【Fn】+【F1】（下げる）／【Fn】+【F2】（上げる） ● AC アダプターを接続しているときと接続していないときの明るさの設定を、別々に保持できます。
H	スピーカー	● 音量調整：【Fn】+【F5】（下げる）／【Fn】+【F6】（上げる） ● スピーカーのオン／オフ：【Fn】+【F4】
I	LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。 ➔ 『操作マニュアル』「第 5 章：LAN でネットワークに接続する」
J	モデムコネクター	モジュラーケーブルを接続します。 ➔ 『操作マニュアル』「第 5 章：電話回線に接続する」
K	セキュリティロック	ケンジントン社製のセキュリティケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。 セキュリティロックおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。
L	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。 ➔ 『操作マニュアル』「第 4 章：USB 機器を接続する（外部マウスなど）」
M	無線 LAN 用アンテナ（内蔵）	無線 LAN 通信用のアンテナが内蔵されています。 ➔ 『操作マニュアル』「第 5 章：無線 LAN で通信する」
N	CD/DVD ドライブ	➔　31 ページ

各部の名称と働き

	名　称	働き／参照先
A	電源端子　DC IN 16V	AC アダプターを接続します。➔　16 ページ
B	外部ディスプレイコネクター	外部ディスプレイのケーブルを接続します。 ➔　『操作マニュアル』「第 4 章：外部ディスプレイを接続する」
C	PC カードスロット	➔　『操作マニュアル』「第 4 章：PC カードを使う」
D	SD メモリーカードスロット	SD メモリーカード専用です。マルチメディアカードには対応していません。 ➔　『操作マニュアル』「第 4 章：SD メモリーカードを使う」
E	SD メモリーカード状態表示ランプ　SD	➔　26 ページ
F	ドライブ電源／オープンスイッチ	● 右にスライドすると CD/DVD ドライブのディスクカバーが開きます（コンピューターの電源が入っているときのみ）。 ● 左にスライドするごとにドライブの電源オン／オフが切り替わります（Windows起動中のみ）。
G	ディスプレイラッチ	ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、スタンバイや休止状態に入ります。操作を再開するときはディスプレイを開けてください。 ➔　『操作マニュアル』「第 2 章：次回、すぐに操作を始めるために」
H	マイク入力端子	コンデンサー型モノラルマイクロホンの 2 極プラグタイプと 3 極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
I	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

J	エマージェンシーホール	➔　31 ページ、『操作マニュアル』「第 3 章：CD/DVD ドライブ」
K	拡張メモリースロット	➔　33 ページ
L	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。
M	ラッチ	バッテリーパックの取り付け／取り外し時に、手動でロックを解除します。➔　15 ページ
N	バッテリーパック	➔　15 ページ、『操作マニュアル』「第 2 章：バッテリーパック」

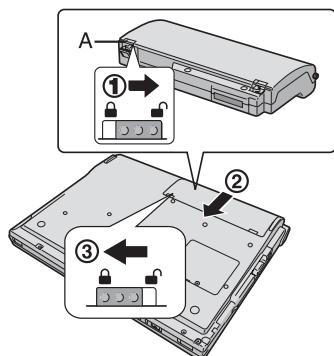
はじめて使うとき

お買い上げ後、はじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1　付属品を確認する。（➔付属の『ご使用の前に』）

2　ソフトウェア使用許諾書（➔　57ページ）に同意する。

本機の包装袋のシールをはがす前に、必ず内容を確認してください。

3　本体を裏返し、バッテリーパックを取り付ける。

① バッテリーパックの左側のラッチ（手動：A）をロック解除（🔓）の方向にスライドする。

② バッテリーパックの向きに注意して、矢印の方向にスライドさせて取り付ける。

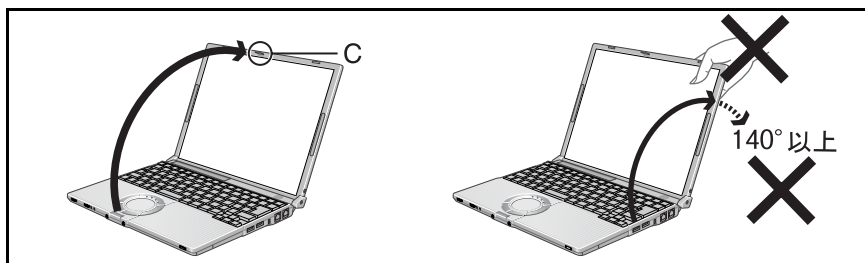
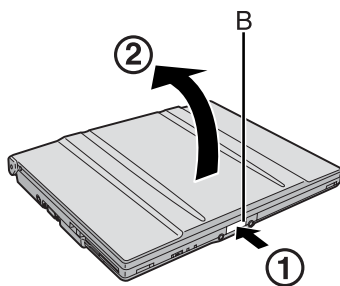
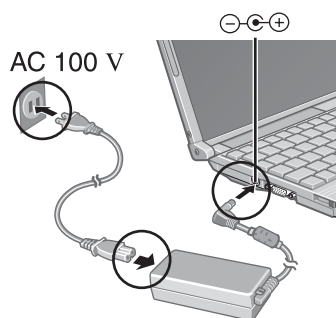
③ 左側のラッチ（手動：A）をロック（🔒）の方向にスライドし、しっかりと固定されていることを確認する。
（右側のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。）

お願い

- 必ずラッチのロック状態を確認してください。正しくロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。
- バッテリーパックや本機のコネクター部分に触れないようにしてください。
汚れ・損傷などで接触が悪くなると、十分に充電できない、または本機が正しく動作しないことがあります。
- バッテリーパックに関する注意（➔　6ページ）をよくお読みください。

4　①ディスプレイラッチ（B）を押しながら、
②C（下図）の部分を持ってディスプレイを開ける。

- ディスプレイを必要以上（140°以上）に開けたり、必要以上の力を液晶部分に加えたりしないでください。また、液晶部分の端を持って開閉しないでください。

まず準備

5 ACアダプターを接続する。

- はじめて使うときの操作が完了するまで、必ず接続しておいてください。バッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。
- 接続すると、自動的にバッテリーパックの充電が始まります。
  充電時間：電源オフ時 約5時間／電源オン時 約6.5時間
  （コンピューターの動作状態により異なります。）

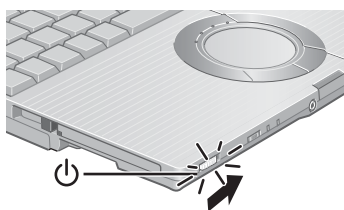
⚠ 注意

ACアダプターに強い衝撃を加えない

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

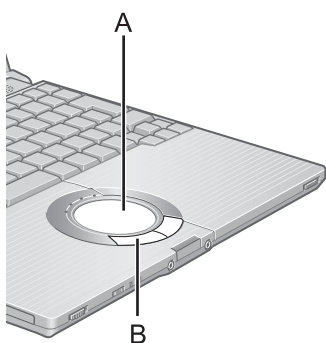
- ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

必ず指定のACアダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

6 電源を入れる。

電源スイッチ⏻を約1秒間スライドし、電源状態表示ランプ⏻が点灯したら手を離します。

お願い

- 電源スイッチを4秒以上スライドしないでください。強制的に電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、ホイールパッドに触れたりしないでください。
- 手順**7**が完了するまで、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。Windowsのセットアップが正しく動作しない場合があります。

7 Windowsをセットアップする。

カーソル（⇖）の移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッド（A）と左ボタン（B）を使います。

① 「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面で[次へ]をクリックする。
② 「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、[同意します]をクリックして、[次へ]をクリックする。
- 「同意しません」をクリックした場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③ 「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して、[次へ]をクリックする。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④ 「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前を入力して、[次へ]をクリックする。（組織名は入力しなくてもかまいません。）

⑤「コンピューター名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]をクリックする。

- 文字入力の設定がキャップスロックやナムロック(➔ 26ページ)になっていないことを確認してください。
- コンピューター名：
  ネットワークを使用して複数のコンピューターと接続する場合に、本機を識別するための名前です。ネットワークに接続しない場合は、変更する必要はありません。
- 設定したパスワード：
  必ず覚えておいてください。Windows にログオンできなくなります。
- パスワードを設定せずに次へ進んだ場合：
  Windows のセットアップ後に [コントロールパネル] でパスワードを設定できます。

  詳しくは、『セキュリティガイド』「ステップ **6**」をご覧ください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻、タイムゾーンを設定して[次へ]をクリックする。

- や をクリックして設定できます。
- 設定が正しい場合は、[次へ] をクリックしてください。

- [次へ] をクリックした後、2 ～ 3 分程度「日付と時刻の設定」画面が表示されたままになる場合があります。キーボードやホイールパッドなどを操作せずにそのままお待ちください。
- 各種設定が自動的に行われた後、コンピューターが自動的に再起動し、Windows が起動します。

⑦ 手順⑤で設定したパスワードを入力して をクリックする。
Windowsにログオンできます。

- パスワード入力時に文字入力の設定がキャップスロックやナムロックになっていないことを確認してください。（➔ 18 ページ手順 ⑥）

お知らせ

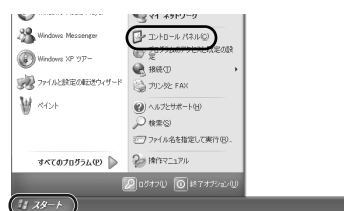
このメッセージはエラーメッセージではありません。

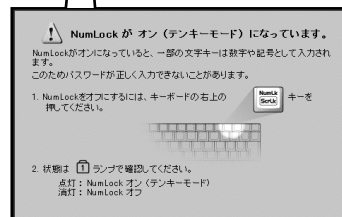
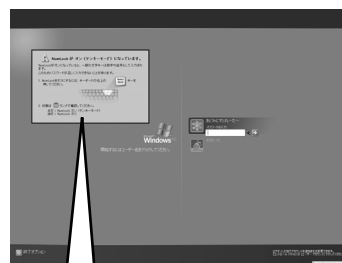
- Windowsのセットアップが完了すると
  - 左記のメッセージが画面の右下に表示されますが、続いて次の手順に進んでください。
    これは、[コントロールパネル]の[セキュリティセンター]機能が表示しているメッセージで、エラーメッセージではありません。このメッセージについては、付属の『困ったときのQ&A』「タスクトレイのQ&A」をご覧ください。
  - 無線LAN切り替えスイッチが右（ON側）にある場合は、無線LANの電源がオンの状態になります。無線LANの電源を切りたい場合は、左（OFF側）にスライドしてください。

8 本機を使用するユーザーを識別するための「ユーザーアカウント」を作成する。

- メールの設定やパスワードリセットディスク(➔ 19 ページ)などの各種操作を行ってからユーザーアカウントを作成すると、それまでのメールの履歴や設定内容が使用できなくなりますので、ここでユーザーアカウントを作成します。

① [スタート][*1] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]をクリックし、[新しいアカウントを作成する]をクリックする。

[*1] Windows のセットアップ直後は、[スタート] がクリックされた状態（[スタート] の上に [すべてのプログラム] などのメニューが表示された状態）になっている場合があります。

まず準備

はじめて使うとき

② アカウントの名前を入力して、[次へ]をクリックする。
（例：Panasonic）

- アカウントの名前に使用できない文字列
  CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9

③ [アカウントの作成]をクリックする。

- 最初に作成するユーザーアカウントは「コンピューターの管理者」以外選べません。
  「コンピューターの管理者」のアカウントを作成すると、次からは制限ユーザーのユーザーアカウントも作成できるようになります。

④ パスワードを設定する。

- 本機を複数の人で使う場合、自分用のアカウントにパスワードを設定しておくことをおすすめします。
- パスワードを設定する場合は、パスワードを設定するアカウントをクリックしてから [パスワードを作成する] をクリックし、画面に従ってパスワードを入力して、[パスワードの作成] をクリックします。
  - 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れたときのために、ヒントになるものを [パスワードのヒント] に入力しておくと便利です。また、パスワードリセットディスクを作成しておくことをおすすめします。（➔ 19 ページ）
    パスワードを忘れると Windows を使用することができません。

⑤ [スタート] - [終了オプション] - [再起動]をクリックして、コンピューターを再起動する。

⑥「ようこそ」画面で、作成したユーザーアカウント（ユーザーのアイコン）をクリックしてログオンする。

- 手順 ④ でパスワードを設定していないと、「ようこそ」画面は表示されません。
- 手順 ④ でパスワードを設定している場合は、パスワードを入力して ➡ をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。
- 文字入力の設定がテンキーモードに設定されている場合は、左図のように「NumLock（ナムロック）お知らせ」画面が表示されます。（➔ 『操作マニュアル』「第 2 章：テンキーモードで使う」）
- 「ようこそ」画面には作成したユーザーアカウントのみが表示され、Windows のセットアップ時に使用していた「Administrator」のアカウントは表示されません。

⑦ 画面右下のタスクトレイの （赤色）をクリックし、[自動更新を有効にする]をクリックする。
さらにウィルス対策として、ウィルス対策ソフト マカフィー®・ウイルススキャンをお使いいただくこともできます。（➔ 47ページ）

◆ はじめて使うときの操作はこれで完了です

お知らせ

- 画面上の文字やアイコンが小さくて見にくい場合
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic]をクリックする。
  ② [フォントサイズ拡大]をクリックし、表示サイズをクリックして、[OK]をクリックする。
- 「フォントサイズ拡大」の他に、画面の一部を拡大表示する「ズームビューアー」もあります。
  (➔ 『操作マニュアル』「第 6 章：画面全体のアイコンなどを拡大表示する／画面の一部を拡大表示する」)

内蔵CD/DVDドライブのドライブ文字を変更する

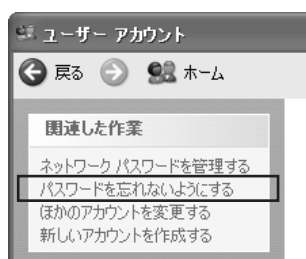
内蔵 CD/DVD ドライブの電源オン／オフにより、内蔵 CD/DVD ドライブや接続しているデバイス（SD メモリーカードや外付けドライブなど）のドライブ文字が変わる場合があります。内蔵 CD/DVD ドライブのドライブ文字が変わらないようにするには、ドライブ文字をアルファベットの L 以降などに割り当てておくことをおすすめします。
ただし、ドライブ文字を変更していても、CD/DVD ドライブの電源をオフにした後に SD メモリーカードや USB デバイスなどを取り付けると、ドライブ文字が変更されてしまう場合があります。

- ドライブ文字とはWindowsが記憶装置（ドライブ）に割り当てるAからZまでのアルファベット 1 文字です。A ドライブ、B ドライブ、C ドライブには変更できません。また、他の機器が使用中のドライブ文字やネットワークドライブに割り当てられたドライブ文字も使用できません。
- 工場出荷時、内蔵 CD/DVD ドライブは D ドライブになっています。
- アプリケーションソフトをインストールする前に設定することをおすすめします。

① コンピューターの管理者の権限でログオンする。
② CD/DVDドライブの電源がオンになっていることを確認する。
ドライブの電源がオフの場合は、オンにしてください。
③ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オプティカルディスクドライブ文字変更ユーティリティ]をクリックする。
④ [新しいドライブ文字 :] の ▼ をクリックし、ドライブ文字をクリックして、[OK]をクリックする。

Windowsのログオンパスワードを忘れたときのために

現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、次の手順に従って、あらかじめ、フロッピーディスクまたは SD メモリーカードをパスワードリセットディスクとして作成しておいてください。

① 別売りのUSBフロッピーディスクドライブ（➔付属の『ご使用の前に』）を本機に接続する。または、SDメモリーカードを本機のSDメモリーカードスロットにセットする。
② [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]をクリックする。
③ ログオンしているアカウントをクリックし、[関連した作業]内から[パスワードを忘れないようにする]をクリックする。
以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。
- パスワードリセットディスクで解除できるのは、各アカウントのログオンパスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

画面の表示について

電源を入れ、Windows にログオンしたとき、最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。（画面やアイコンは一例です。）

など

◆ デスクトップのアイコン

ダブルクリックすると、アプリケーションソフトが起動したり、ウィンドウが開いたりします。

◆ [スタート]メニュー

クリックすると、メニューが表示されます。
使いたいアプリケーションソフトなどをメニューから選択し、クリックします。

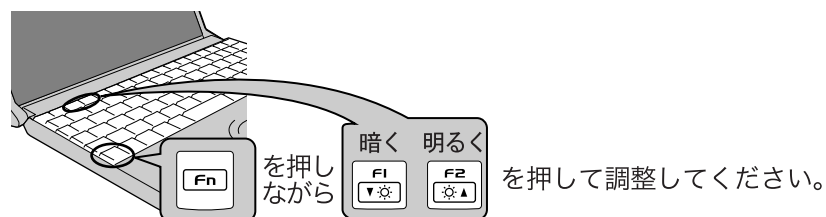
◆ タスクトレイ（画面右下）

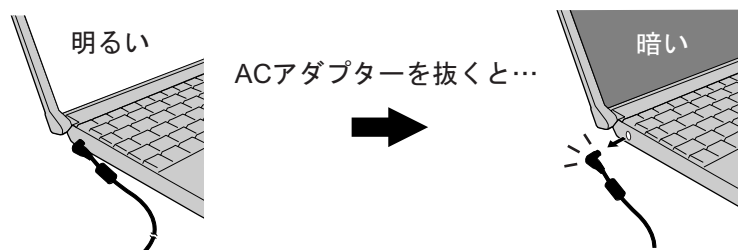
並んでいるアイコンにはそれぞれ役割があり、機能設定や状態確認などを行います。

- 本書で説明しているアイコンが表示されていない場合は、 をクリックして表示させてください。
  （本書で使用しているアイコンは、各種機能の設定や接続している機器など、環境によって、種類や順序が実際の表示と異なる場合があります。）

アイコン	名称と役割	参照先
	Intel Graphics Media Accelerator Driver for Mobile アイコン（画面設定に使用）	–
	ネットセレクターアイコン （LAN や無線 LAN などの接続設定に使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 5 章：いろいろな場所でネットワークに接続」
または	無線 LAN アイコン （無線 LAN の電源オン／オフの確認や IEEE802.11a の有効／無効の切り替えに使用）	➔ 35 ページ
	ポインティングデバイスアイコン （ホイールパッドの各種設定に使用）	–
または	スクロールアイコン （ホイールパッドユーティリティの状態確認や設定に使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 2 章：ホイールパッドを使う」
または	音量アイコン （音量の設定）	➔Windows のヘルプ
または	ワイヤレスネットワーク接続アイコン （無線 LAN の接続設定に使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 5 章：無線 LAN で通信する」
または	有線ネットワーク接続アイコン （有線 LAN の接続設定に使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 5 章：LAN でネットワークに接続する」
	B's CLiP アイコン （B's CLiP の各種設定に使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 3 章：CD/DVD にデータを書き込む（B's Recorder/B's CLiP を使う）」
または	ドライブ電源アイコン （CD/DVD ドライブの電源オン／オフの切り替え）	➔ 『操作マニュアル』「第 3 章：CD/DVD ドライブ」

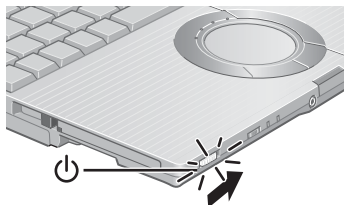
アイコン	名称と役割	参照先
または	エコノミーモード (ECO) アイコン （現在のエコノミーモード (ECO) の確認やモードの切り替えに使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 2 章：バッテリーパック」
	バッテリーメーターアイコン AC アダプターを抜くと表示。（「バッテリメーター」画面の表示や電源プロパティの調整に使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 2 章：バッテリーパック」
または	Windows セキュリティアイコン （セキュリティに関する設定状態の確認や設定に使用）	➔ 46 ページ
または	Fn キーアイコン Hotkey 設定画面で [Fn キーの状態を画面に表示する] にチェックマークを付けている場合のみ表示。 （Fn キーのロック状態の確認に使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 2 章：Fn キーを使う」
	ズームビューアーアイコン ズームビューアーを起動している場合のみ表示。 （拡大表示ウィンドウの表示やズームビューアーの各種設定に使用）	➔ 『操作マニュアル』「第 6 章：画面の一部を拡大表示する」

画面の明るさを調整する

押すごとに明るさが変わります。

◆ ACアダプターを抜くと暗くなる

工場出荷時、ACアダプターを接続していない状態では画面を暗くするように設定されています。画面を暗くすると消費電力を節約できるので、バッテリーでの使用に適しています。

これは、AC アダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを、コンピューターが別々に覚えているためです。AC アダプターを接続していない状態で **【Fn】** ＋ **【F2】** を押して明るくすると、その明るさが保持され、次に AC アダプターを抜いたときも調整した明るさになります。（明るくしていると、バッテリーでの駆動時間が短くなります。）

電源を入れる／切る

電源を入れる

1　電源を入れる。

電源スイッチ ⏻ を約1秒間スライドし、電源状態表示ランプ ⏻ が点灯したら手を離します。

- 4 秒以上スライドしないでください。強制的に電源が切れます。
- 起動中（ポインターが砂時計⌛から通常のもの に戻り、ハードディスク状態表示ランプ🛢が消えるまで）は、次のことをしないでください。
  - AC アダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
  - ドライブ電源／オープンスイッチを操作する。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで 10 秒以上あけてください。

2　Windowsにログオンする。

ハードディスク状態表示ランプ🛢が消えてから、ユーザーアカウント（ユーザーのアイコン）をクリックします。

- パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して➡をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。
  文字入力の設定がキャップスロックやテンキーモード（➔ 18ページ手順⑥）になっていないことを確認してください。
- ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。（➔ 45 ページ）
- ユーザーが一人だけ作成されていて、パスワードが設定されていない場合は、ユーザーを選ぶ画面が表示されません（自動ログオン）。

お知らせ

- お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、次のようになります。
  - ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。ホイールパッド、キーボードを操作すると元の状態に戻ります。
    アプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（**【Ctrl】**や**【Shift】**など）を押してください。
    また、コンピューターを操作せずに放置していると、スタンバイ状態に入るように設定されています。電源スイッチをスライドするとリジュームします。
    （➔ 『操作マニュアル』「第2章：次回、すぐに操作を始めるために」）
  - CD/DVD ドライブにディスクがセットされていない場合、ドライブの電源がオフになります。
    （➔ 『操作マニュアル』「第3章：CD/DVDドライブ」）
- 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっていることがあります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

◆ 電源を入れた後、すぐに左の画面が表示されたら...

本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力し【**Enter**】を押してください。

- 正しく入力すると起動します。
- 3 回間違えるかパスワードを入力せずに約 1 分経過すると、電源が切れます。

電源を切る

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。

2 終了画面を表示する。

[スタート] - [終了オプション]をクリックします。

3 [電源を切る]をクリックする。

電源が切れます。

- 起動し直したい場合（再起動）: [再起動] をクリックする。

◆ キーボードを使って電源を切るには：

① 【⊞】、【**U**】の順に押し、【→】【←】【↑】【↓】で[電源を切る]を選ぶ。
② 【**Enter**】を押す。

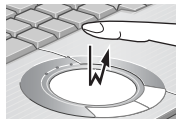
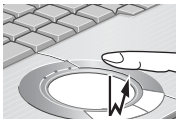
お願い

- 電源が切れるまでは、次のことをしないでください。
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
  - ドライブ電源／オープンスイッチを操作する。

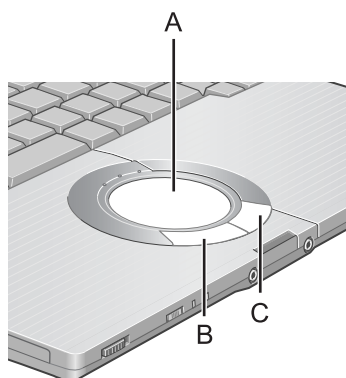
お知らせ

- コンピューター本体に AC アダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約 1.5 Wの電力が消費されます。）
- 電源が切れている状態でも電力を消費します。満充電していても約3週間でバッテリー残量がなくなります。

◆ 席を外すなど、操作を中断するとき...

「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます。

（→ 『操作マニュアル』「第 2 章：次回、すぐに操作を始めるために」）

ホイールパッドを使う

基本操作

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
A. 操作面（ホイールパッド） B. 左ボタン C. 右ボタン

機能	操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かす。
タップ／クリック	タップ または クリック ● 右クリック：右ボタンをクリックする。
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	1 回タップしてから素早く指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら指を移動させる。
縦／横スクロール	下方向／右方向 または 上方向／左方向 円を描くようにホイールパッドをなぞる。 横スクロールの場合は、ご使用前に初期設定が必要です。（➔ 『操作マニュアル』「第 2 章：ホイールパッドを使う」）

お知らせ

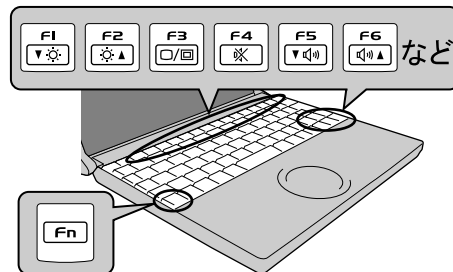
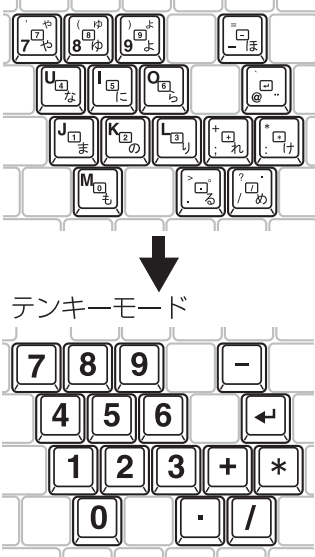
- ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス]をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。
- ホイールパッドの取り扱いは、次の点に気を付けてください。
  - ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
  - 油などでホイールパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。

キーボードを使う

キーボードを使って文字を入力したり、いろいろな機能を働かせたりすることができます。

Fnキーを使う

【Fn】を押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーを押すと、次の表のような機能が働きます。

- 各機能の詳細：➔ 『操作マニュアル』「第 2 章：Fn キーを使う」
- **【Fn】**と**【Ctrl】**（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➔ 39ページ）：**【Fn】**の代わりに**【Ctrl】**（左側）を押してください。（キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。）

キー	機能	ポップアップウィンドウ（Windows にログオン後表示）
【Fn】＋**【F1】** **【Fn】**＋**【F2】**	**内部 LCD の明るさの調整** **【Fn】**＋**【F1】**（下げる）／**【Fn】**＋**【F2】**（上げる）	
【Fn】＋**【F3】**	**画面の表示先の切り替え**（外部ディスプレイ接続時）	—
【Fn】＋**【F4】**	**音声出力のオン／オフ**	オフ（ミュート） オン
【Fn】＋**【F5】** **【Fn】**＋**【F6】**	**音量調整** **【Fn】**＋**【F5】**（下げる）／**【Fn】**＋**【F6】**（上げる）	
【Fn】＋**【F7】**	**スタンバイ機能を使って電源オフ**	—
【Fn】＋**【F9】**	**バッテリーの残量表示**	100 % バッテリー装着時（表示はエコノミーモード (ECO) 無効での一例） ECO 79 %（表示はエコノミーモード (ECO) 有効での一例） -- % バッテリー未装着時
【Fn】＋**【F10】**	**休止状態機能を使って電源オフ**	—
【Fn】＋**【F11】**	**使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。**（SysRq）	—
【Fn】＋**【F12】**	**画面をクリップボードにコピー**（PrtSc） 画面全体をクリップボードにコピーします。 **【Fn】**＋**【Alt】**＋**【F12】**を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	—
【Fn】＋**【NumLk】** **【Fn】**＋**【Ins】** **【Fn】**＋**【Del】**	**使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。** **【Fn】**＋**【NumLk】**：**ScrLk** **【Fn】**＋**【Ins】**：**Pause** **【Fn】**＋**【Del】**：**Break**	—
【Fn】＋**【←】**	**最初のページに移動またはカーソルを行の先頭に移動**（Home）	—
【Fn】＋**【→】**	**最後のページに移動またはカーソルを行の最後に移動**（End）	—
【Fn】＋**【↑】**	**前のページに移動**（PgUp）	—
【Fn】＋**【↓】**	**次のページに移動**（PgDn）	—

状態表示ランプ

ランプ	ランプの名前と状態
A	Caps Lock ランプ（キャップスロック） ● **【Shift】**を押しながら**【Caps Lock】**を押すと点灯：アルファベットが大文字で入力できる状態。
1	NumLk ランプ（ナムロック／テンキーモード） ● **【NumLk】**を押すと点灯：キーボードの一部がテンキーとして機能する状態。ランプ点灯時に押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。**【Enter】**の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。解除するには、もう一度**【NumLk】**を押します（ランプ消灯）。 ● NumLk ランプ点灯時： 右図のように機能します。 テンキーモード
↑↓	ScrLk ランプ（スクロールロック） ● **【Fn】**を押しながら**【NumLk】**（ScrLk）を押すと点灯：使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
	ハードディスク状態表示ランプ ● 点灯：ハードディスクへのアクセス中。
	電源状態表示ランプ（内部 LCD の明るさに合わせてランプの明るさも変わります。） ● 消灯：電源オフまたは休止状態。 ● 点灯：電源オン。 ● 点滅：スタンバイ状態。

ランプ	ランプの名前と状態
ECO	エコノミーモード (ECO) ランプ バッテリーのエコノミーモード (ECO) の有効／無効を表します。（➔ 28 ページ） ● 消灯：無効 ● 点灯：有効 ● 点滅：有効(残量 80% まで放電中)
	バッテリー状態表示ランプ ● 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態。 ● オレンジ色点灯（または明滅）：充電中。 ● 緑色点灯：充電完了。 ● 赤色点灯：残量約 9% 以下。 ● 赤色点滅：バッテリーパックまたは充電回路が正しく動作していない状態。 ● オレンジ色点滅：一時的に充電できない状態。（バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外、またはアプリケーションソフトや内蔵／外付けデバイスなどが多くの電力を消費し電力不足になっている場合）
上図の B	CD/DVD ドライブ状態表示ランプ ● 消灯：ドライブの電源がオフの状態。 ● 点灯：ドライブの電源がオンで、アクセスしていない状態。 ● 点滅：ドライブの電源がオンで、アクセスしている状態。 ドライブの電源のオン／オフを切り替える方法： ➔ 『操作マニュアル』「第 3 章：CD/DVD ドライブ」
SD	SD メモリーカード状態表示ランプ ● 点灯：SD メモリーカードへのアクセス中。

バッテリーパック

バッテリー残量を正確に表示させるために（バッテリー残量表示補正ユーティリティ）

本機のバッテリーパックには、バッテリー容量を計測し、記憶、学習するための機能があります。バッテリー残量を正確に表示させるため、バッテリー残量表示補正機能を使ってバッテリーをいったん満充電にした後、完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後、一度は行っておいてください。また、長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合も、再度この操作を行ってください。

お知らせ

- バッテリー残量表示補正は10℃～30℃の温度環境で行ってください。
- バッテリー残量表示補正を実行中にコンピューターの電源を切ると（停電やACアダプターまたはバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリーの残量表示は補正されません。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正の実行に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：最大約5時間
  - 完全放電にかかる時間：約5時間
- バッテリー残量表示補正は、バッテリーの容量を増やすものではありません。また、頻繁に行うと、バッテリーパックの劣化の原因になるおそれがあります。
- バッテリーパックを2個以上お持ちの場合、バッテリーパックごとにバッテリー残量表示補正を行ってください。

1 バッテリーパック装着後、ACアダプターを接続する。

バッテリーパックとACアダプターを除くすべての周辺機器を取り外してください。

2 すべてのアプリケーションソフトを終了する。

3 「バッテリー残量表示補正」を実行する。

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ]をクリックする。

② 確認のメッセージが表示されたら[開始]をクリックする。
前回の実行から約1か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。この場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ Windowsの終了確認が表示されたら[はい]をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電状態になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了するとバッテリー残量表示補正が終了し、自動的に電源が切れます。
そのまま充電してください。

「バッテリー残量表示補正」を実行する
▼充電が始まる
▼満充電になる
▼放電が始まる
▼完全に放電する
➡電源が切れる
▼
ACアダプターを接続したままにしておく。
▼再び充電が始まる

お願い

- バッテリー残量表示補正実行中は、LCD パネルを閉じないでください。また、ACアダプターを抜かないでください。

バッテリーの長寿命／長時間駆動を切り替える（エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ）

バッテリーパックは消耗品で、使用するごとに少しずつ劣化します。
特に次のような場合は、バッテリーパックの劣化が進みやすく耐久年数が短くなることがあります。

- AC アダプターを長時間接続したまま繰り返し満充電にしている場合
- 温度が高くなる場所で使用している場合

本機では、バッテリーパックの劣化を抑え、バッテリーパックの耐久年数を少しでも長くするために、エコノミーモード (ECO) を有効に切り替えることができます。使い方に合わせてエコノミーモード (ECO) を切り替え、バッテリーを上手にお使いください。

	エコノミーモード（ECO）	
	無効	有効
おすすめの使い方	モバイル派 持ち歩いて使う	デスク派 ほとんどの時間ACアダプターに接続して使う
駆動時間	長い	短い
耐久年数	短い	長い

- エコノミーモード (ECO) 無効（お買い上げ時の設定）：
  バッテリーの充電を 100%（満充電）まで行います。エコノミーモード (ECO) 有効に比べ、バッテリー駆動時間は長くなります。
  次のような場合におすすめします。
  - 本機をバッテリーパックで使うことが多い
  - バッテリー駆動時間をできるだけ長くしたい

- エコノミーモード (ECO) 有効：
  バッテリーの充電を満充電の 80% までで停止します。100%（満充電）にしないことでバッテリーへの負担を軽減して劣化を防ぎ、バッテリーパックの耐久年数を長くします。エコノミーモード (ECO) 無効に比べ、バッテリー駆動時間は短くなります。
  次のような場合におすすめします。
  - AC アダプターを接続して使用することが多い
  - バッテリーパックの劣化を防ぎたい

エコノミーモード(ECO)を切り替える

1 画面右下のタスクトレイの「エコノミーモード(ECO)アイコン」（無効）または（有効）を右クリックする。

または が表示されていない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ]をクリックしてください。

使ってみる

エコノミーモード(ECO) 有効(E)
✓エコノミーモード(ECO) 無効(D)
バッテリー等の上手な使い方(H)
バージョン情報(V)
終了(X)

2 [エコノミーモード(ECO)有効]または[エコノミーモード(ECO)無効]をクリックする。

[エコノミーモード(ECO)有効]に設定した場合

- バッテリー残量が 81% 以上のとき
  バッテリー残量が 80% 以下になるまでバッテリーを放電します。
  放電中はエコノミーモード (ECO) ランプが点滅します。

① 放電開始の確認メッセージが表示されますので、画面の内容をよく読み、[OK]をクリックする。

② バッテリー残量が80%以下になるまでACアダプターを抜いて放電する。
バッテリー残量が80%以下になったらバッテリーの放電が終了し、エコノミーモード(ECO)ランプが点灯します。
ACアダプターを抜かなくてもバッテリー残量が80%になるまで放電されますが、バッテリー残量が80%になるまで約1日かかる場合があります。

③ 放電終了の確認メッセージが表示されますので、画面の内容をよく読み、[OK]をクリックする。

④ ACアダプターを接続する。
手順③で[OK]をクリックしなかった場合は、意図せずバッテリー残量が低下するのを防ぐため約3分後に強制的にスタンバイ状態に入ります。
  - アプリケーションソフト使用中やデータ送信中、またはハードディスクへのアクセス中でも強制的にスタンバイ状態に入りますので、必ず AC アダプターを接続してください。

- バッテリー残量が 80% 以下のとき
  エコノミーモード (ECO) ランプが点灯します。
  確認のメッセージが表示されますので、画面の内容をよく読み、[OK] をクリックしてください。

[エコノミーモード(ECO)無効]に設定した場合
エコノミーモード(ECO)ランプが消灯します。
確認のメッセージが表示されますので、画面の内容をよく読み、[OK]をクリックしてください。

お知らせ

- 「エコノミーモード (ECO) アイコン」 または 上にカーソルを移動させると、吹き出し文字で現在のエコノミーモード(ECO)の設定が表示されます。
- エコノミーモード (ECO) の設定は、コンピューターに取り付けられたバッテリーパックにも引き継がれます。
  バッテリーパックを取り外した後、エコノミーモード(ECO)の設定が異なるコンピューターに取り付けると、次回、コンピューターの電源を入れるまでは、バッテリーパック側の設定が優先されて充電／放電が行われます。

使ってみる

パスワードとハードディスク保護

セットアップユーティリティでパスワードを設定したり、ハードディスク保護を有効に設定することで、データの盗難を防止したり、機密を保護することができます。

お願い

- パスワードやハードディスク保護を設定する前に、必ず 『セキュリティガイド』をご覧ください。
  - スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合、有償での修理が必要になります。
  - 本機の修理を依頼される場合は、ハードディスク保護が無効に設定されていることを確認してください。
    ハードディスク保護が有効な状態で修理を依頼された場合、ハードディスクのデータの読み書きができません。また、修理でハードディスク保護を無効にすることもできません。

◆ セットアップユーティリティでパスワードを設定する

① コンピューターの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。
② コンピューターの起動後すぐ､「Panasonic」起動画面が表示されている間に **【F2】**を押してセットアップユーティリティを起動する。
③ **【➔】【➔】**で[セキュリティ]を選ぶ。
④ スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
【↑】【↓】で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、**【Enter】**を押す。
ユーザーパスワードを設定する場合：
【↑】【↓】で[ユーザーパスワード設定]を選び、**【Enter】**を押す。
- ユーザーパスワードを設定するには､まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

スーパーバイザーパスワードが設定されていない場合の画面

⑤ [新しいパスワードを入力してください] の [　　　　] の中に新しいパスワードを入力し､**【Enter】**を押す。
- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- パスワードに使える文字は､半角の英数字とスペースで最大 32 文字です。
  - 大文字、小文字の区別はありません。
  - 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
  - **【Shift】**や**【Ctrl】**などのキーと組み合わせて入力することはできません。

⑥ [新しいパスワードを確認してください]の[　　　　]の中に手順⑤で入力したパスワードを再度入力し､**【Enter】**を押す。
⑦ 確認の画面で**【Enter】**を押す。
⑧ **【F10】**を押し、[はい]を選んで**【Enter】**を押す。

◆ ハードディスク保護を設定する

- スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、設定してください。(上記)

① セットアップユーティリティを起動する。(上記手順①と②)
- パスワードの入力画面が表示されたら､スーパーバイザーパスワードを入力してください。

② **【➔】【➔】**で[セキュリティ]を選ぶ。
③ **【↑】【↓】**で[ハードディスク保護]を選び、**【Enter】**を押す。
④ **【↑】【↓】**で[有効]を選び､**【Enter】**を押す。
⑤ 確認の画面で**【Enter】**を押す。
⑥ **【F10】**を押し、[はい]を選んで**【Enter】**を押す。

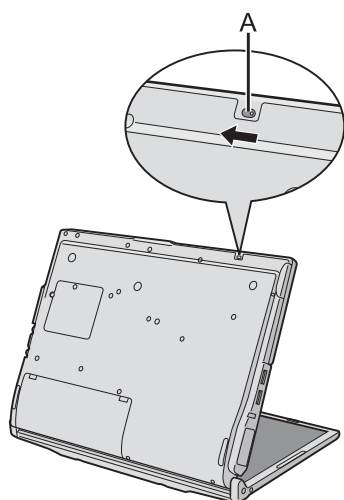
使ってみる

CD/DVD ドライブ

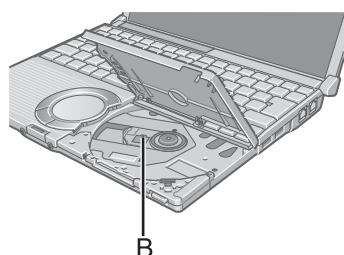
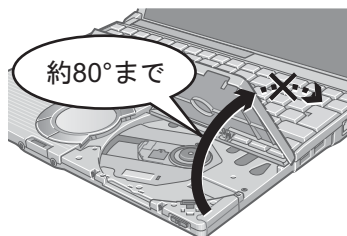
使用上のお願い

◆ ドライブをお使いになる前に

- 油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。
  レンズの寿命が短くなることがあります。

◆ ディスクカバーの開閉

- コンピューターの電源が入っている場合は、必ず本体前面右側のドライブ電源／オープンスイッチを使うか、Windows 上で取り出しの操作を行ってください。
  次のソフトをお使いの場合は、ドライブ電源／オープンスイッチではカバーが開きません。
  - B's CLiP をお使いの場合、条件により取り出しの操作が異なります。詳しくは、

    『操作マニュアル』「第 3 章：CD/DVD にデータを書き込む（B's Recorder/ B's CLiP を使う）」をご覧ください。
  - 「MovieAlbum」をお使いの場合は、停止または一時停止中に MovieAlbum 画面上の⏏をクリックしてください。
- ディスクカバーが開かないときや、電源を入れないでディスクを取り出したいときは、ゼムクリップを引き伸ばしたものやボールペンの先などを底面のエマージェンシーホール（A）に挿し込み、矢印の方向に動かしてください。
- ディスクカバーが開いているときに、次のことをしないでください。
  - ディスプレイを閉じない。
    必ずディスクカバーが閉じていることを確認してからディスプレイを閉じてください。液晶部分が傷つくことがあります。
  - ドライブのすき間部分にクリップなどの異物を入れない。
    故障の原因になります。

- ディスクカバーは約 80° まで開きます。それ以上、無理に開けないでください。
  手などが触れて 80° 以上開いてしまった場合は、ディスクカバーを押し込んでからストッパーが元に戻るまで、ゆっくりと手前に戻してください。
- ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないでディスクカバーを閉じると、ディスクが傷つくことがあります。
- ディスクカバーを閉じた後、CD/DVD ドライブ状態表示ランプが点滅から点灯に変わるまで、ドライブにアクセスしないでください。

◆ レンズのクリーニングについて

- ディスクカバーを開けたままで放置したり、レンズ（B）の部分に手を触れたりしないでください。
  ゴミやほこりがレンズに付着し、データを読み取れなくなる場合があります。
  また、使用環境によっても、ほこりがレンズに付着することがあります。
- レンズ（B）にはカメラ用のレンズブロアーの使用をおすすめします。
  （スプレー式の強力なものは使わないでください。）

◆ 内蔵ドライブの接続インターフェースについて

- 本機に内蔵の CD/DVD ドライブは USB 接続です。
  PC カード、SD メモリーカード、USB 機器などを取り外すとき、「ハードウェアの安全な取り外し」画面に「USB 大容量記憶装置デバイス」のひとつとして、内蔵の CD/DVD ドライブが表示されます。内蔵の CD/DVD ドライブは、取り外すことはできませんので [停止] を選ばないでください。

◆ ドライブアクセス中の操作について

- ディスクカバーを開けたり、コンピューターを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。ディスクが外れて傷ついたり、故障の原因になります。
  また、ディスクにアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまでディスクカバーを開けないでください。
- ディスクカバーを強く押さないでください。
- ドライブ電源／オープンスイッチを操作しないでください。
- コンピューターに衝撃を与えたり、ケーブルやカードなどを抜き挿ししたりしないでください。データの読み書きに失敗することがあります。

◆ メディア（ディスク）の認識について

- 書き換え可能なメディアに録画された映像を再生する場合は、メディアの認識に約 30 秒～ 40 秒かかることがありますが、そのままお待ちください。

◆ B's CLiPの+RWメディア（ディスク）へのバックグラウンドフォーマットについて

- バックグラウンドフォーマットとは、+RW メディア（ディスク）に対して行われるフォーマットのことです。B's CLiP を用いた +RW メディア（ディスク）のフォーマットは、見かけ上短時間で終了しますが、実際は未フォーマット部分を自動的にフォーマットするバックグラウンドフォーマットが働いています。そのため CD/DVD ドライブ状態表示ランプが点滅します。
  - バックグラウンドフォーマット中に限り、CD/DVD ドライブ状態表示ランプが点滅中でもメディアの取り出しは可能です。メディアを取り出す場合や、バックグラウンドフォーマット中に本機を持ち運ぶ場合は、タスクトレイの を右クリックし、[取り出し] をクリックしてメディアを取り出してください。
  - バックグラウンドフォーマット中であっても、メディアへの書き込み／読み出しは可能です。
  - 取り出したメディアのフォーマットが完了していなかった場合、メディアをドライブに戻すと、バックグラウンドフォーマットが再開されます。バックグラウンドフォーマットは、フォーマットが完了するまで続きます。

◆ MovieAlbumについて

- MovieAlbum は、スーパーマルチドライブ用アプリケーションソフトです。
- DVD レコーダーを使って VR（Video Recording）モードで記録した DVD-RAM を編集／再生したり、VR モードで DVD-RAM を作成することができます。ただし、CPRM で録画された映像には対応していません。（VR モードの DVD-R/RW は編集／再生できません。）
- MovieAlbum を起動しているときにディスクを取り出す場合：
  停止または一時停止中に MovieAlbum 画面上の をクリックしてください。ドライブ電源／オープンスイッチを右にスライドしても、ディスクは取り出せません。
- MovieAlbum 起動中は CD/DVD ドライブの電源をオフにすることはできません。MovieAlbum 終了後、オフにしてください。

（➔ 『操作マニュアル』「第 3 章：VR モードで DVD-RAM を編集する（MovieAlbum を使う）」）

B's Recorder/B's CLiPのシリアル番号

- インストール操作の間に、シリアル番号の入力指示があったら、次のシリアル番号を入力してください。
  B's Recorder：
  B's CLiP：

メモリーを増設する

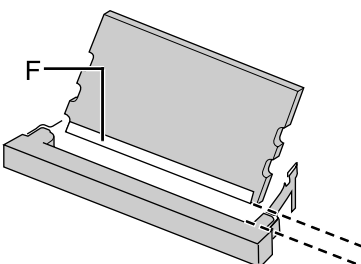
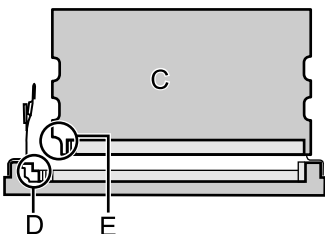
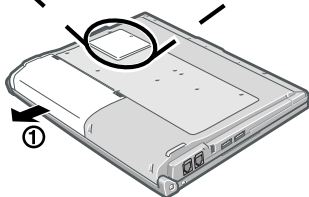
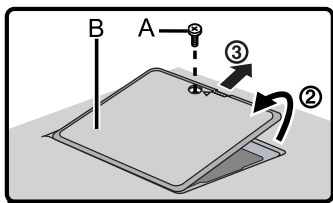
別売りの RAM モジュールを増設し、メモリーを増やすことによって Windows やアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます。（お使いの使用条件により効果は異なります。）

- RAM モジュールは CF-BAV0256U などの推奨品をお使いください。それ以外は使用しないでください。正常に動作しないだけでなく故障の原因になる場合があります。また、推奨品以外の RAM モジュールによっては、発熱して、カバーが変形する場合があります。本機の拡張メモリースロットに増設可能な RAM モジュールの仕様については「仕様」（➔ 60 ページ）をご覧ください。推奨品については弊社の最新のカタログやホームページでご確認ください。
- 推奨品以外の RAM モジュールを使用した場合や誤った方法で装着または取り外した場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。RAM モジュールの種類や装着方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。

お願い

- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触れないでください。
- クリップなどの異物を入れないでください。機器が破損したり、火災・感電の原因になります。

RAMモジュールの取り付け／取り外し

取り付ける

1 コンピューターの電源を切る。（➔ 23ページ）

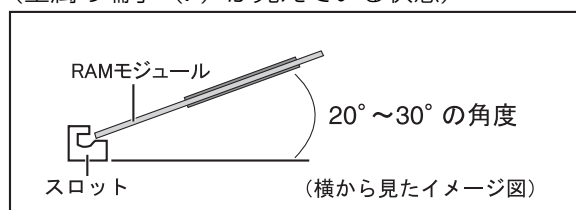
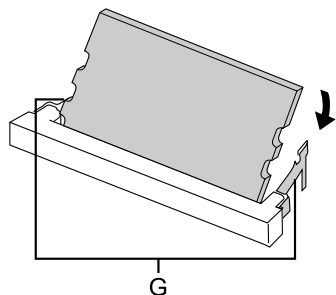
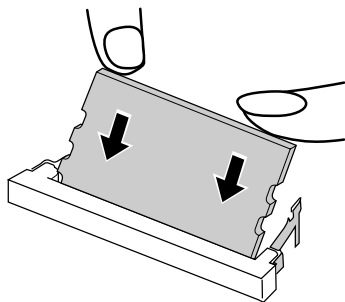
- スタンバイ・休止状態のとき、取り付け／取り外しを行わないでください。
- AC アダプターを取り外してください。

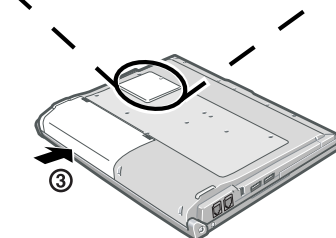
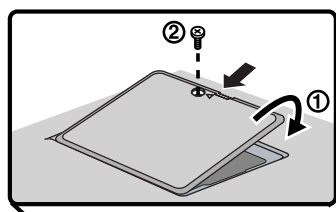
2 ①本体を裏返し、バッテリーパックを取り外す。
②ネジ（A）を取り外してカバー（B）を持ち上げる。
③カバーを引き抜く。

- ネジ山をつぶさないように、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。

3 RAMモジュールを取り付ける。

① RAMモジュール（C）の向きを確認する。
スロットの凸部（D）とRAMモジュールの切り欠き部（E）の向きを合わせて持ってください。

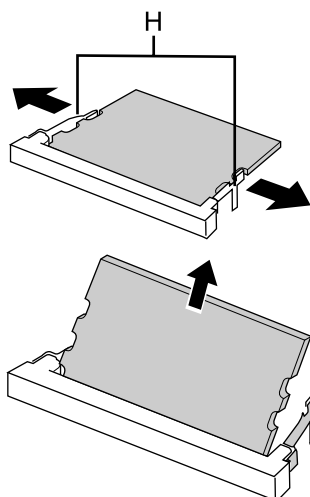
② スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。
（金属の端子（F）が見えている状態）

メモリーを増設する

③ 金属の端子が見えなくなるまで、平行にしっかりと挿し込む。
- 挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。
- しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

④ 左右のフック（G）でロックされるまで倒す。
- RAM モジュールを倒すとき、左右のフックが少し開き、ロックされると元に戻ります。
- 倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。

4 カバーとバッテリーパックを取り付ける。

① カバーを斜めから挿し込み、取り付ける。
② ネジで固定する。
③ バッテリーパックを取り付ける。

お知らせ

- RAMモジュールの挿し方を間違えたり、推奨品以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、コンピューターの電源を入れたときにビープ音が鳴り、「増設RAMモジュールエラーです」というメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピューターの電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認して、正しく取り付け直してください。
- 増設したメモリーサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニュー（➔ 38ページ）で確認できます。工場出荷時のメモリーサイズは仕様のメインメモリーをご覧ください。

取り外す

「取り付ける」の手順 ***1*** ～ ***2*** の後、次の手順で取り外してください。

① 左右のフック（H）を外側にゆっくりと広げる。
RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

② ゆっくりとスロットから取り外す。

③ カバーを取り付ける。（➔ 「取り付ける」の手順***4***）

無線LANで通信する

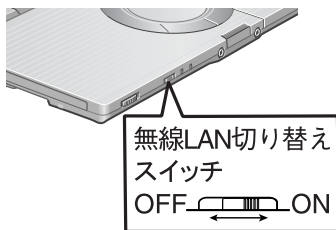
◆ 無線LANの設定方法や使用時のお願い

- はじめて無線LANアクセスポイント(別売り)を使って無線LANで通信する場合は、付属の『無線 LAN 接続ガイド』をご覧ください。
- 詳しくは、『操作マニュアル』「第 5 章:無線 LAN で通信する」をご覧ください。

◆ 無線LANサポート情報

「http://askpc.panasonic.co.jp/wlan/index.html」にアクセスすると、最新の無線LAN サポート情報が入手できます。(2006 年 1 月 1 日現在)

無線LANの電源を入れる／切る

- 無線 LAN をお使いになる前に、無線 LAN 切り替えスイッチを右(ON 側)にスライドしてください。(工場出荷時は、無線 LAN 切り替えスイッチは右(ON 側)になっています。)

1 無線LAN 切り替えスイッチをスライドし、無線LAN の電源のオン／オフを切り替える。

- 電源を入れるときは、右(ON 側)にスライドします。
  画面右下のタスクトレイの「無線 LAN アイコン」が になります。
- 電源を切るときは、左(OFF 側)にスライドします。
  画面右下のタスクトレイの「無線 LAN アイコン」が になります。

お知らせ

- 無線LAN切り替えスイッチを操作してから、「ワイヤレスネットワーク接続」画面の表示が更新されるまで、多少時間がかかる場合があります。

◆ 航空機内、病院内など、無線LANの使用が禁止されている場所で、コンピューターを使用する場合

- 使用する前に必ず無線 LAN の電源を切ってください。

無線LANの規格IEEE802.11aの有効／無効を切り替える

無線 LAN の規格 IEEE802.11a (5 GHz の無線 LAN) を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN 切り替えスイッチがオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。

- 本機は、IEEE802.11a(J52/W52/W53)に準拠しています。

1 コンピューターの管理者の権限でログオンする。

制限ユーザーでは、IEEE802.11aの有効／無効を切り替えることができません。

2 画面右下のタスクトレイの「無線LANアイコン」 または を クリックする。

✓ 802.11a 有効(E)
802.11a 無効(D)
バージョン情報(V)
終了(X)

3 IEEE802.11aを無効にする場合:

- [802.11a 無効] をクリックする。

IEEE802.11aを有効にする場合:

- [802.11a 有効] をクリックする。

IEEE802.11aを有効／無効に設定しても、「無線LANアイコン」 または
 は変わりません。

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線 LAN のセキュリティに関する設定は行われていません。
無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。（➔ 『操作マニュアル』「第 5 章：無線 LAN で通信する」、お使いの無線 LAN アクセスポイントの説明書）

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してコンピューターと無線アクセスポイント等との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
  • ID やパスワードあるいはクレジットカード番号等の個人情報
  • メールの内容
  等の通信内容を盗み見る可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のコンピューターやネットワークへアクセスし、
  • 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  • 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  • 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  • コンピューターウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）
  等を行う可能性があります。

本機の無線 LAN 機能や無線アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線アクセスポイントにあわせてセキュリティに関する設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。

無線 LAN のセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線 LAN の仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをおすすめします。お客様ご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

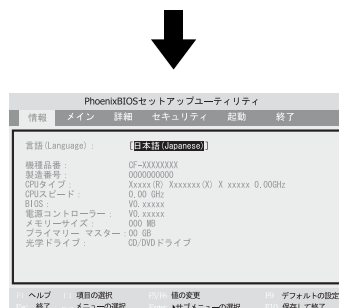
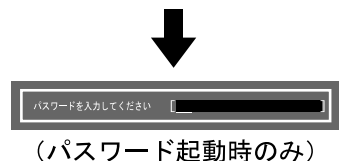
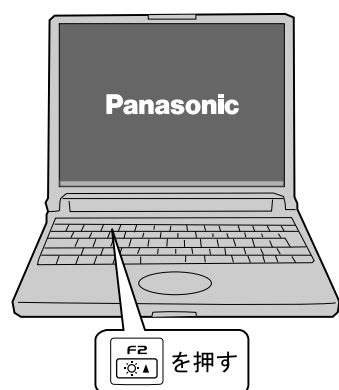
セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、コンピューターの動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の 6 メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「セキュリティ」、「起動」、「終了」

セットアップユーティリティを起動する

パスワードを入力してください

（パスワード起動時のみ）

1 コンピューターの電源を入れる。または、Windows を終了して再起動する。

2 コンピューターの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に **【F2】** を押す。

パスワードを設定している場合は、左の画面が表示されます。パスワードを入力し、**【Enter】** を押してください。

<u>スーパーバイザーパスワード（➔ 41ページ）を入力すると</u>

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

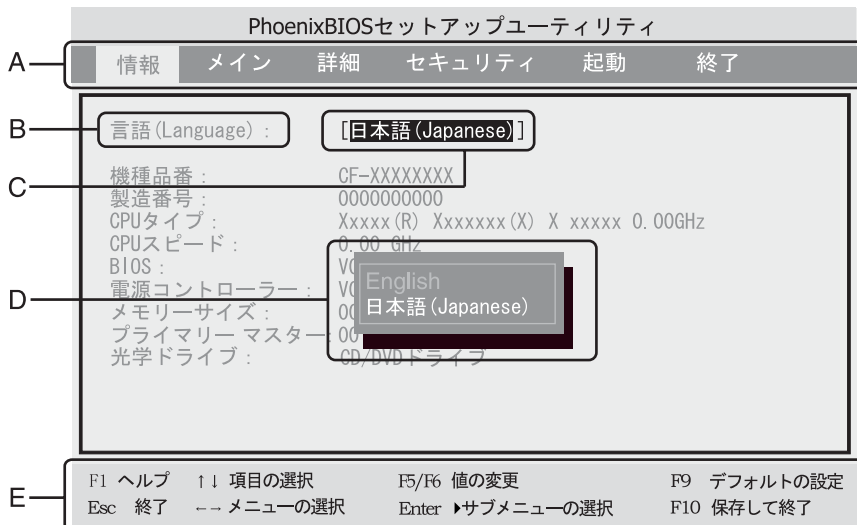
<u>ユーザーパスワード（➔ 41ページ）を入力すると</u>

- 「詳細」メニューと「起動」メニューでは：
  - 設定を参照することはできますが、変更はできません。
- 「セキュリティ」メニューでは：
  - [登録された SD の解除]、[スーパーバイザーパスワード設定]、[ハードディスク保護]、[内蔵セキュリティ（TPM）設定]（[設定サブメニュー保護] を [保護する] に設定している場合）は表示されません。
  - [データ実行防止機能]、[起動時のパスワード]、[SD による起動]、[SD のセット方法]、[Setup Utility 表示]、[Boot First Menu]、[ユーザーパスワード保護] は表示されますが、設定はできません。
  - [ユーザーパスワード保護] が [保護しない] に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更ができます。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。
- 「終了」メニューでは：
  - [デフォルト設定] が表示されません。
- **【F9】** は使えません。

お知らせ

- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に同時表示にすることはできません。
  【Fn】 ＋ **【F3】** を押して表示先を切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。
- パスワードを設定していて[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合
  - コンピューター起動時：パスワードの入力は不要
  - セットアップユーティリティ起動時：パスワードの入力が必要。これにより、セットアップユーティリティの内容が変更されるのを防ぐことができます。
- **【F2】** を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。その場合、Windowsを終了して起動し直してください。
- セットアップユーティリティを終了するとき
  ① **【Esc】** を押す。
  ② 終了方法の項目を選んで **【Enter】** を押す。
  ③ [はい]を選んで **【Enter】** を押す。

セットアップユーティリティを操作する

A.【←】【→】を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。
B. 選択できる項目が複数ある場合は【↑】【↓】を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。
C. 反転表示されている項目は【Enter】を押してサブメニューを表示させることができます。
D. サブメニューが表示されているときは【↑】【↓】を押して項目を選ぶことができます。
E. セットアップユーティリティの画面で、設定に使えるキーを表示しています。

設定に使うキー

キー	説明
【F1】	ヘルプを表示。(【↑】【↓】でヘルプの画面を1行ずつスクロールする。【F1】を再度押すと元の画面に戻る)
【Esc】	「終了」メニューを表示。
【↑】【↓】	カーソルを上下に移動。(項目を選ぶときに使用)
【←】【→】	カーソルを左右に移動。(「情報」「メイン」「詳細」「セキュリティ」「起動」「終了」の各メニューを選ぶときに使用)
【F5】	各項目の前候補を選択。(設定値の変更時に使用)
【F6】	各項目の次候補を選択。(設定値の変更時に使用)
【Enter】	各設定項目のサブメニューを表示。(【↑】【↓】で項目を選んだ後に使用。【Esc】でサブメニューを閉じる)
【F9】	各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す。
【F10】	設定を保存して終了。

情報メニュー

(アンダーラインは工場出荷時の設定)

項目	設定
言語(Language) • セットアップユーティリティの言語を選択します。	English <u>日本語(Japanese)</u>
機種品番 製造番号 CPU タイプ CPU スピード BIOS 電源コントローラー メモリーサイズ プライマリー マスター 光学ドライブ •「メイン」メニューの [CD/DVD ドライブ電源] を [オフ] に設定しているときは、[電源オフ] と表示されます。	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更することはできません。

使ってみる

メインメニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
システム時間 • 24 時間制です。 • 【Tab】で時、分、秒の移動ができます。キーボードから直接入力するか、【F5】【F6】で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]
システム日付 • 【Tab】で年、月、日の移動ができます。キーボードから直接入力するか、【F5】【F6】で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx]
フラットパッド • ホイールパッドを使う（有効）／使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/ 左 Ctrl キー • 内部キーボードの【Fn】と【Ctrl】（左側）の機能を入れ換えず工場出荷時のまま使う（標準）／入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 • 入れ換えた場合、【Fn】（「Ctrl」と印刷されている左側のキー）と【Ctrl】（右側）のキーを押しながらもう 1 つのキーを押す操作はできません。 • キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 入れ換え
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。 • 外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ] を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。Windows 起動後は、次の項目で設定した内容が有効になります。 [スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) GMA Driver for Mobile] - [デバイス]	外部ディスプレイ 内部 LCD
拡張表示 • Windows が起動するまでの表示を拡張表示にする（有効）／しない（無効）を設定します。	無効 有効
CD/DVD ドライブ電源 • コンピューター起動時に、CD/DVD ドライブの電源を入れる（オン）／入れない（オフ）を設定します。 • [オフ] に設定した場合： 　• 次回起動時に、CD/DVD ドライブから起動ができなくなります。また、Windows が起動するまでディスクカバーを開くこともできません。CD/DVD ドライブから起動（「起動」メニューで [USB CDD]（内蔵 CD/DVD ドライブ）を優先）するときは、[オン] に設定してください。 　• ディスクがセットされた状態（CD/DVD ドライブの電源がオンの状態）で休止状態からリジュームすると、リジュームするまでに約 20 秒かかる場合があります。 • オン／オフに関係なく、Windows が起動するまでは、ドライブ電源／オープンスイッチでドライブの電源をオン／オフすることはできません。	オフ オン
充電中バッテリー状態表示 • バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する／明滅するを設定します。	点灯 明滅

使ってみる

詳細メニュー

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したとき、「詳細」メニューは変更できません。

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
モデム • 内蔵モデムの機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けのモデムには働きません。）	無効 有効
LAN • 内蔵 LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けの LAN カードには働きません。）	無効 有効
無線 LAN • 内蔵無線 LAN の機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（外付けの無線 LAN カードには働きません。）	無効 有効
レガシー USB • Windows が起動する前に、内蔵 CD/DVD ドライブ、USB キーボードおよび USB フロッピーディスクドライブをコンピューターに認識させる機能を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

セキュリティメニュー

お知らせ

- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、表示および設定できる項目が制限されます。（➔ 37ページ）
- [SDによる起動]、[SDのセット方法]、[登録されたSDの解除]は、SDメモリーカードが登録されているときのみ表示されます。（➔ 『操作マニュアル』「第4章：SDメモリーカードによるセキュリティ機能」）
- コンピューター起動時、「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」が表示された場合、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

項目	設定
データ実行防止機能 • データ実行防止機能（プログラムのメモリー（バッファー）を悪用した不正プログラムの実行を阻止する機能）を使う（有効）／使わない（無効）を設定します。 • 通常は [有効] に設定しておいてください。 • 詳しくは、『セキュリティガイド』「ステップ 7」をご覧ください。 デスクトップの セキュリティガイド をダブルクリックすると表示されます。 デスクトップに セキュリティガイド がない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [セキュリティガイド] をクリックしてください。	無効 有効
起動時のパスワード • コンピューター起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要とする（有効）／必要としない（無効）を設定します。	無効 有効
SD による起動 • コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに SD メモリーカードを使う（許可）／使わない（禁止）を設定します。 • SD メモリーカードを登録すると、[許可] に設定されます。 • [起動時のパスワード] が [無効] に設定されているときは設定できません。	禁止 許可
SD のセット方法 • コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに SD メモリーカードを使う場合、カードのセット方法を [セットしたまま] または [セットして抜く] に設定します。 • [SD による起動] が [許可] に設定されているときのみ設定できます。 • [起動時のパスワード] が [無効] に設定されているときは設定できません。	セットしたまま セットして抜く

使ってみる

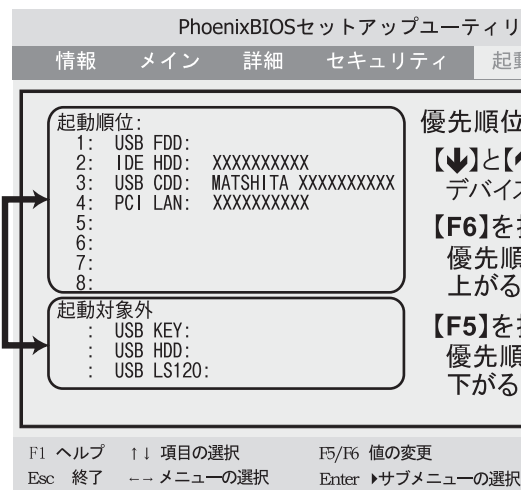
（アンダーラインは工場出荷時の設定）

登録された SD の解除 • 現在登録されているすべての SD メモリーカードが、コンピューター起動時のパスワード入力の代わりに使えなくなるよう登録を解除します。	サブメニュー表示
スーパーバイザーパスワード設定 • セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、コンピューターも起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード] を [有効] に設定してください。	サブメニュー表示
Setup Utility 表示 • コンピューター起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に [Press F2 for Setup/F12 for LAN] というメッセージを表示させる（有効）／表示させない（無効）を設定します。	無効 <u>有効</u>
Boot First Menu • 「起動時のメニュー」を表示させる（有効）／表示させない（無効）を設定します。（➔ 42 ページ「お知らせ」）	無効 <u>有効</u>
ハードディスク保護 • ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）／保護しない（無効）を設定します。 （➔ 『セキュリティガイド』「ステップ **11**」） • 「ハードディスク保護」が有効のままスーパーバイザーパスワードを忘れてしまうと、「ハードディスク保護」を無効にすることができません。保護がかかったままになり、アクセスできなくなります。ハードディスク保護がかかった状態で修理を依頼された場合、ハードディスクのデータが読み書きできず、ハードディスクドライブを修理することができません。また、修理でハードディスク保護を解除することもできません。あらかじめご了承ください。 • スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	<u>無効</u> 有効
ユーザーパスワード保護 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）／許可しない（保護する）を設定します。	<u>保護しない</u> 保護する
ユーザーパスワード設定 • 本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 例えば、コンピューターを管理する人がスーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定し、他の利用者へはユーザーパスワードだけを知らせておくようにします。こうすることにより、他の利用者に対して、セットアップユーティリティの変更を制限することができます。（➔ 37 ページ） • スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	サブメニュー表示
内蔵セキュリティ（TPM）設定 • 内蔵セキュリティチップ（TPM）に関するサブメニューを表示します。 設定サブメニュー保護： ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）設定] を表示する（保護しない）／表示しない（保護する）を設定します。 内蔵セキュリティチップ（TPM）： 内蔵セキュリティチップ（TPM）を使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。 所有者情報の初期化： 内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化することで内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを利用できないようにします。コンピューターを廃棄・譲渡する際に使用してください。 • 【**Esc**】を押すと、設定を保存してサブメニューを閉じます。 • スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 詳しくは、『セキュリティガイド』「ステップ **16**」をご覧ください。 デスクトップの セキュリティガイド をダブルクリックすると表示されます。 デスクトップに セキュリティガイド がない場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [セキュリティガイド] をクリックしてください。	サブメニュー表示

使ってみる

起動メニュー

「起動」メニューには、接続されている機器（内蔵を含む）の名称が表示されます。
「USB CDD: MATSHITA XXXXXX UJ-8XXX」または「USB CDD: MATSHITA UJDA7XXX XXXX」は内蔵の CD/DVD ドライブです。
次の手順でオペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。

- 優先順位を 1 つ上げる場合は、【↑】【↓】で「起動順位」内のデバイスを選択して【F6】を押す。
- 優先順位を 1 つ下げる場合は、【↑】【↓】で「起動順位」内のデバイスを選択して【F5】を押す。
- 起動順位をデフォルト設定に戻す場合は、【1】を押す。
  （デフォルト設定の優先順位：USB FDD → IDE HDD → USB CDD → PCI LAN）
- 「起動対象外」のデバイスを「起動順位」に移動する場合（またはその逆）：
  【↑】【↓】でデバイスを選択して【X】を押す。「起動対象外」から「起動順位」へ移動した場合は、移動したデバイスは最後尾に表示されます。必要に応じて、起動順位を設定してください。

お知らせ

- 内蔵CD/DVDドライブから起動する場合
  次の設定になっていることを確認してください。
  •「メイン」メニューの[CD/DVDドライブ電源]が[オン]
  •「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]
  [オフ]または[無効]に設定されている場合は、起動できません。
- USBコネクターに接続している機器から起動する場合
  •「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]になっていることを確認してください。
- ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、「起動」メニューは変更できません。
- 同一の機器が複数接続されている場合、1つの機器の名称だけが表示されます。
- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、コンピューター起動時にも選択することができます。電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐに【Esc】を押すと、デバイスを選択する「起動時のメニュー」が表示されます。（実際に起動可能なデバイスのみ表示されます。）セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定を変更すると、「起動時のメニュー」の表示も変更されます。「起動時のメニュー」は、「セキュリティ」メニューの[Boot First Menu]が[有効]に設定されているときのみ表示させることができます。
- 起動できる別売りのフロッピーディスクドライブについては、付属の『ご使用の前に』をご覧ください。
- 「起動対象外」に表示されているデバイスからは起動できません。このため、優先順位も変更できません。
- 本機では、B's Recorderを使ってCF-W2およびCF-Y2シリーズで作成した起動ディスクは使用できません。これらの機器と起動ディスクを共用したい場合は、新たに本機で起動ディスクを作成してください。
- 本機では外付けのCD/DVDドライブからの起動はサポートしていません。

終了メニュー

設定を保存して終了	設定内容を保存して終了します。
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了します。
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。 • ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。
設定を保存する	設定内容を保存します。

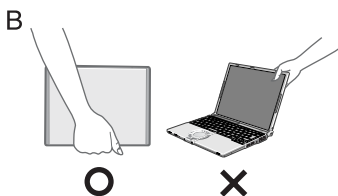
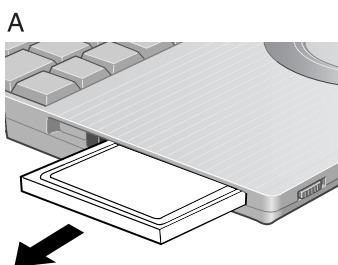
使用・保管・お手入れについて

使用／保管に適した環境

- 平らで落下のおそれがない場所
  コンピューターを立てて置かないでください。倒れると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
- 使用時の温度 ：5 ℃～ 35 ℃　　湿度 ：30 %RH ～ 80 %RH （結露なきこと）
- 保管時の温度 ：-20 ℃～ 60 ℃　湿度 ：30 %RH ～ 90 %RH （結露なきこと）
  - 上記温度、湿度の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。
- 磁気を発生するもの、および磁気カードなどから離れた場所
  - 磁石、磁気ブレスレットなどを近づけないでください。
  - 本機は左図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。

持ち運ぶとき

A

B

◆ おすすめします

- AC アダプターと、予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。
- SD メモリーカードなどにデータのバックアップをとる。

◆ お守りください

- 電源を切る。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出た PC カード（左図 A）、SD メモリーカードをすべて取り外す。
- ディスプレイを閉じ、ラッチ部分（➔ 14 ページ）がきちんとかみ合っていることを確認する。
  ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。（左図 B）
- 落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。
- 航空機利用時
  - コンピューターやディスクなどは、手荷物として持つ。
  - 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。
- 予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。
- 液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているとき、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

お手入れ

- ディスプレイ／ホイールパッドのお手入れ：
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ディスプレイ以外の部分／ホイールパッドに汚れが付着した場合：水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

Windowsについて

Windows の設定、インストールしているアプリケーションソフトやドライバーによって、Windows のメニューや表示が本書と異なる場合があります。
また、パスワードリセット機能（➔ 19 ページ）など一部の機能が動作しない場合があります。その場合、次の項目の他、本書や付属の『困ったときの Q&A』、Windows のヘルプ（➔ 12 ページ）、アプリケーションソフトやドライバーに付属の説明書などから、該当する項目をご覧ください。

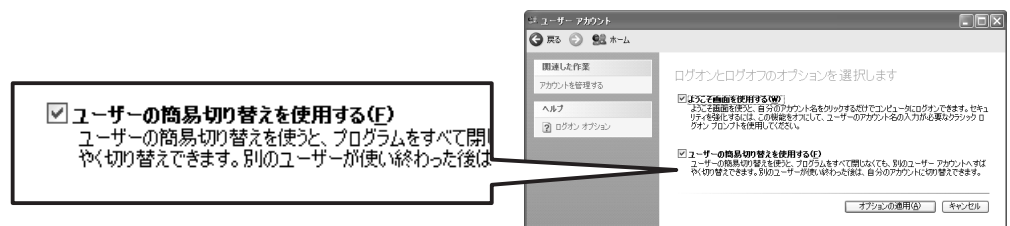
ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] - [ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する] をクリックし、「ようこそ画面を使用する」または「ユーザーの簡易切り替えを使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、操作が異なります。

◆ ようこそ画面を使用する／使用しない

この項目にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、Windows 起動時および終了時の操作が異なります。

- 工場出荷時はチェックマークが付いた状態（使用する）になっています。
- SD カード設定（➔ 『操作マニュアル』「第 4 章：SD メモリーカードによるセキュリティ機能」）で「Windows のログオン時に使用する」に設定している場合は、ようこそ画面は使用できません。

◆ ユーザーの簡易切り替えを使用する／使用しない

この設定にチェックマークを付ける（使用する）と、複数のユーザーがコンピューターを使用している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り替えることができます。本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

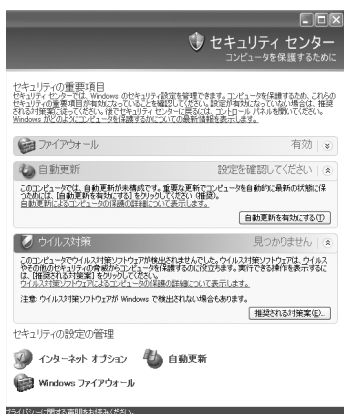
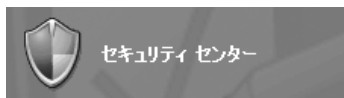
次の場合はユーザーの簡易切り替えを使用することができません。

- 「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けていない場合
- ネットワークのドメインに参加している場合
- SD カード設定（➔ 『操作マニュアル』「第 4 章：SD メモリーカードによるセキュリティ機能」）で「Windows のログオン時に使用する」に設定している場合

アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
また、ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、画面の設定ができなくなる場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、コンピューターを再起動してください。

セキュリティセンター

Windows をコンピューターウィルスなどによる被害から守るため、Windows セキュリティセンター機能をお使いください。

Windowsセキュリティセンターについて

- Windows セキュリティセンターとは
  “Windows のセキュリティ情報を一元管理する機能”で、ウィルス対策などの Windows のセキュリティ設定がより安全に行われているかを監視します。
  コンピューターウィルスなどによる被害から Windows を守るため、「Windows セキュリティセンター」機能をお使いください。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] をクリックすると、次のセキュリティ関連の現在の設定が表示されます。
  - Windows ファイアウォール
    外部ネットワーク（インターネットなど）経由の不正なアクセスからコンピューターを保護するためのセキュリティ機能です。
    外部ネットワークとの間でやり取りされるデータを規制して、認められているデータ以外は通過できないようにする働きをします。
    お買い上げ時は、有効に設定されています。
  - 自動更新
    インターネットに接続していれば、セキュリティの更新など、重要な更新が行われているかを定期的に確認し、自動的にインストールして最新の状態にする機能です。
  - ウィルス対策
    ウィルス対策ソフトがインストールされているかどうか、およびウィルス対策ソフトのバージョンが最新かどうかなどを定期的に確認する機能です。

ポップアップブロック機能について

Windows では、Web 上のコンテンツに対するセキュリティ機能が強化されています。そのひとつに「ポップアップブロック機能」があり、この機能により Web ページが表示されなくなる場合があります。
「ポップアップブロック機能」について詳しくは、付属の『困ったときの Q&A』「Web ページの表示がおかしい」をご覧ください。

ウィルス対策について

ウィルス対策について詳しくは、『セキュリティガイド』をご覧ください。

ウィルス対策ソフト マカフィー®・ウイルススキャンをインストールする

デスクトップに が表示されているモデルのみマカフィー・ウイルススキャンをインストールすることができます。
マカフィー・ウイルススキャンはコンピューターウィルスを検査、駆除するソフトです。ご使用いただくために次の手順でインストールおよびアップデートを行ってください。

お願い

- 最新のウィルスを検査、駆除するために必ずアップデートしてください。
  マカフィー・ウイルススキャンを最新版のプログラムやパターンファイルにアップデートするには、ユーザー登録を行う必要があります。
- ユーザー登録およびアップデートにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- ユーザー登録にはメールアドレスが必要です。

① コンピューターの管理者の権限でログオンする。

② デスクトップの（マカフィーウイルススキャンのセットアップ）をダブルクリックする。

③ マカフィー・ウイルススキャンインストールウィザードの画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
インストールが始まります。

④ [世界ウイルス地図]の画面で、[はい、参加します]または[いいえ、参加しません]をクリックして、[次へ]をクリックする。
（郵便番号は入力できません。空白のまま[次へ]をクリックしてください。）

⑤ [完了]をクリックする。
タスクトレイにが表示されます。
（使い方については、タスクトレイのをダブルクリックし、マカフィー・セキュリティセンター画面のヘルプをご覧ください。）

⑥ タスクトレイのを右クリックし、[更新]をクリックしてユーザー登録を行う。
画面に従ってユーザー登録をしてください。ユーザー登録から90 日間はアップデートすることができます。
90 日が過ぎてもマカフィー・ウイルススキャンはご使用になれますが、アップデートができなくなり、最新のウィルスに対応できなくなります。引き続き、マカフィー・ウイルススキャンのアップデートをご利用の場合は、マカフィー・セキュリティセンターのメッセージに従い、セキュリティサービスの延長契約（有償）をお申し込みください。

お知らせ

- エラーメッセージが表示された場合は、マカフィー・テクニカルサポートセンター（➔ 49ページ）にお問い合わせください。

周辺機器の使用／内蔵ハードディスクについて

周辺機器の使用について

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。

また、本書および『操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 仕様に適合した周辺機器を使用する。
- コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
- 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

内蔵ハードディスクのデータ保護のために

次のことをお守りください。

- **コンピューター本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。**
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- **Windows やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスク状態表示ランプが点灯中は、電源を切らない。**
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート] メニューから電源を切ってください。（➔ 23 ページ）
- **磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。**
  ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。
- **ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障、不本意なデータ更新／消失など）に備えて SD メモリーカードなどに定期的にバックアップをとる。**
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- **データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。**

  （➔ 『操作マニュアル』「第 4 章：SD メモリーカードによるセキュリティ機能」、『セキュリティガイド』）

お知らせ

- 操作やデバイスへのアクセスがなく、ハードディスク状態表示ランプが消えてしばらく（10秒以内）したときや、スタンバイ･休止状態に入るとき、Windows終了時に、カッコンという音がする場合があります。これは消費電力を抑えたり、衝撃からハードディスクを保護するためにヘッドが退避するときの音で、故障ではありません。

ハードディスクのパーティション（領域）の変更

工場出荷時、ハードディスクのパーティションは 1 つです。

- パーティションを 2 つに分割する場合は、再インストールで「OS 用とデータ用の 2 つのパーティションを作成して、OS 用パーティションに Windows を再インストールする」を実行してください。
  OS 用として最低限必要なパーティションのサイズは、再インストール時に画面上でご確認ください。
  3 つ以上のパーティションを作成したい場合は、再インストールで OS 用とデータ用の 2 つのパーティションを作成した後、Windows を起動し、「ディスクの管理」を使って 2 つ目のパーティションを削除してから空いた領域にパーティションを 2 つ、または 3 つ作成してください。

アプリケーションの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、付属の『困ったときの Q&A』および 『操作マニュアル』第 7 章の各 Q&A や各アプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトのメーカーのホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご参照ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、下記へお問い合わせください。
お問い合わせの際には、必ず、お使いのコンピューターの状況をご連絡ください。（2006 年 1 月 1 日現在）

- マカフィー®・ウイルススキャン

  （デスクトップに マカフィー・ウイルススキャン が表示されている場合のみ）
  お問い合わせは当社ご相談窓口ではなく、下記にお問い合わせください。
  マカフィー®・ウイルススキャンが付属しているコンピューターを購入されたお客様向けの窓口です。

  マカフィー・カスタマオペレーションセンター
  登録方法に関するご相談やお客様登録情報の変更等、オペレーション上のお問い合わせをいただく窓口です。
  - お問い合わせ時間帯：月〜金曜日　9:00 〜 17:00（祝祭日を除く）
  - 電話 [*1]：0570-030-088
  - E-mail[*2]：カスタマオペレーションセンターへ E-mail でお問い合わせをご希望されるお客様は、下記サポートページ内にあるお問い合わせフォームをご利用ください。
  - Web ページ：お問い合わせフォーム　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp
    サポートページ　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

  マカフィー・テクニカルサポートセンター
  ソフトウェアの操作方法や不具合等の技術的なお問い合わせをいただく窓口です。
  - お問い合わせ時間帯：年中無休　9:00 〜 21:00
  - 電話 [*1]：0570-060-033
  - E-mail[*2]：テクニカルサポートへ E-mail でお問い合わせをご希望されるお客様は、下記サポートページ内にあるお問い合わせフォームをご利用ください。
  - Web ページ：お問い合わせフォーム　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/contact.asp
    サポートページ　http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

  [*1] FAX によるお問い合わせは受け付けておりません。
  [*2] E-mail の受信は 24 時間行っております。

- goo スティック（付属の『ご使用の前に』に goo スティックについての説明がある場合のみ）
  goo 事務局
  goo スティックに関するお問い合わせをいただく窓口です。
  - お問い合わせ時間帯：月〜金曜日　10:00 〜 17:00（年末年始、祝祭日を除く）
  - 電話 [*3]：045-848-4190
  - E-mail：info@goo.ne.jp
  - Web ページ：http://stick.goo.ne.jp/

  [*3] FAX によるお問い合わせは受け付けておりません。

- B's Recorder/B's CLiP

  お問い合わせの前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録の方法は、 『操作マニュアル』「第 3 章：CD/DVD にデータを書き込む（B's Recorder/B's CLiP を使う）」をご覧ください。
  サポートページよりオンラインサポートをご利用ください。
  - Web サイト：
    サポートページ　http://help.bha.co.jp
    ホームページ　http://www.bha.co.jp
  - 株式会社ビー・エイチ・エー　テクニカルサポートセンター
    Windows 用製品向け代表番号
    電話：06-4861-8234
    お問い合わせ時間帯：月〜金曜日 10:00 〜 12:00、13:00 〜 17:00（夏季・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

アプリケーションの問い合わせ先

- WinDVD
  - インタービデオ ジャパン株式会社
    Web サイト：http://www.intervideo.co.jp
  - サポート情報
    インタービデオジャパンのホームページにあるサポートページの情報を確認してください。
  - ユーザーサポート：
    E-mail: techsupp@intervideo.co.jp
    お問い合わせ時間帯：月～金曜日、9:30 ～ 12:00、13:30 ～ 17:00（祝祭日、夏季・年末年始特定休業日を除く）
  - 電話：045-226-3899
  - FAX：045-226-3895

- そのほかの導入済みソフトウェア
  本書および付属の『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」に記載されている「パナソニックパソコンお客様ご相談センター」までお願いいたします。

  また、次の手順で「パナソニックパソコンお客様ご相談センター」へのお問い合わせ先をご確認いただけます。
  ① [スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
  ② [サポート情報]をクリックする。
  お問い合わせの際には必ず、「お問い合わせの前にご確認ください」（➔ 65ページ）をお読みください。

再インストールする

<u>インストールしたアプリケーションやメールの履歴などお客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップをとっておいてください。</u>
再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

- データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。
- 再インストールしても、DVD-Video のリージョンコードを設定できる回数は、工場出荷時の状態に戻りません。

（➔ 『操作マニュアル』「第 3 章：DVD の種類について」）

◆ 再インストールとは

ハードディスクをフォーマットして、Windows をインストールし直すことです。

◆ 再インストールが必要な場合

- Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できない場合
- ハードディスクを 2 つのパーティションに分割して使用する場合

再インストールの前に

◆ 準備する

- プロダクトリカバリー DVD-ROM
- CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを保存した CD-R などのメディア（ダウンロードされた方のみ）
  - 再インストール後は、メディアから CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを再インストールする必要があります。ダウンロードしたCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムは、再インストール前に必ず CD-R などのメディアに保存しておいてください。（➔ 10 ページ）

◆ 次の点を確認する

- 周辺機器および SD メモリーカードは、すべて取り外してください。特に、USB フロッピーディスクドライブや USB 接続の外付け CD/DVD ドライブを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合がありますので、必ず取り外してください。

◆ 再インストールの流れ

セットアップユーティリティの設定を変更する。

↓

プロダクトリカバリー DVD-ROM を使って再インストールする。（約 20 分）

↓

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の設定に戻す。

↓

Windows のセットアップを行う。

↓

セットアップユーティリティの設定を変更する。（必要な場合のみ）

↓

インターネットに接続できる場合は、Windows Update を行う。

（➔ 『セキュリティガイド』「ステップ **2**」）

再インストールする

- 再インストールの途中で電源を切ったり、【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押すなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1 ACアダプターを接続する。

2 セットアップユーティリティの設定を変更する。

次の設定を行います。
- 工場出荷時の設定に戻す。
- CD/DVD ドライブから起動できる設定に変更する。

お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをおすすめします。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押し、セットアップユーティリティを起動する。
- パスワードを設定している場合は、次の画面で、スーパーバイザーパスワードを入力し、【Enter】を押してください。

② 【F9】を押す。
次の画面で[はい]を選び、【Enter】を押してください。

セットアップ確認

デフォルト値をロードしますか？

[はい]　　[いいえ]

③「起動」メニューで[USB CDD]を選び、【F6】を押して[USB CDD]が1番目になるように設定する。（➔ 42ページ）

④ プロダクトリカバリー DVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。
- ディスクカバーが開かない場合：
「メイン」メニューの [CD/DVD ドライブ電源] が [オフ] に設定されていたためです。次の手順を行ってください。
【F10】を押し、確認のメッセージが表示されたら [はい] を選び、【Enter】を押す。（コンピューターが再起動します。）
↓
「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】を押し、セットアップユーティリティを起動する。
↓
プロダクトリカバリー DVD-ROM をセットして、手順 ⑤ から行う。

⑤【**F10**】を押す。
次のメッセージが表示されますので[はい]を選び、【**Enter**】を押してください。

セットアップ確認
設定の変更を保存して終了しますか？ [はい]　　　[いいえ]

セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力し、【**Enter**】を押してください。

3 プロダクトリカバリー DVD-ROMを使って再インストールする。

①【**1**】を押して「1.【リカバリー】」を実行する。
（以降の画面はすべて一例です。）

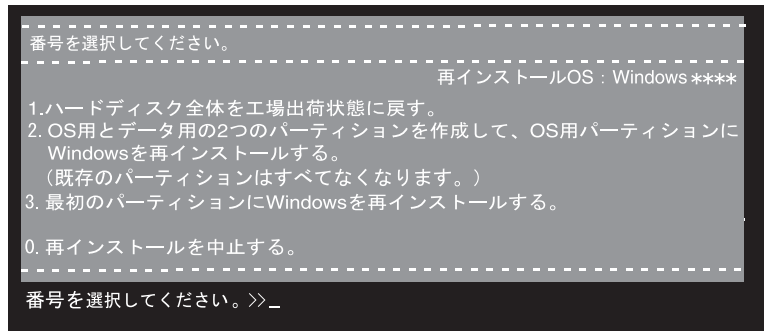
- 再インストールを実行するための条件が表示されます。

```
再インストールを実行するためには以下の条文に同意していただく必要があります。
(1)  再インストールプログラムは、本プロダクトリカバリーDVD-ROM 提供時に指定の
     パナソニックコンピューターに導入されているソフトウェアの復元または
     再インストールを行う目的にのみ使用することができます。
(2)  プロダクトリカバリーDVD-ROM 中の全てのソフトウェアは、取扱説明書に記載の
     ソフトウェア使用許諾書の適用を受けます。

1. はい、  上記の条文に同意します。処理を続けます。
2. いいえ、上記の条文には同意しません。処理を中断します。
番号を選択してください。>> _
```

② 同意する場合は【**1**】を押し、同意しない場合は【**2**】を押す。
- 【**1**】を押すとメニューが表示されます。
- 【**2**】を押すと再インストールを中止します。

再インストールする

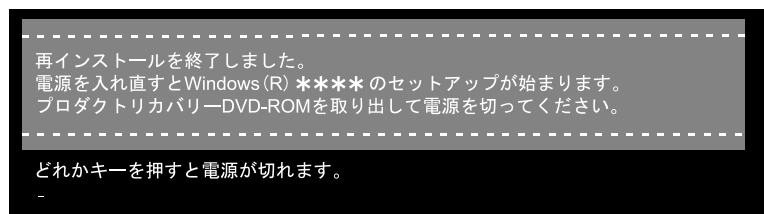
③ 再インストールの方法を選ぶ。

- お買い上げ時の状態に戻す場合
  【1】を押す。
- パーティションを 2 つ（OS 用とデータ用）に分割する場合
  【2】を押す。
  ↓
  OS 用パーティションのサイズ（G バイト単位）を数字で入力し、**【Enter】**を押す。
  - 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
  - 利用できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。（データ用は 1 G バイト以上）機種により、設定できる最大のサイズは異なります。
- パーティション構成を変更せず、最初のパーティションに Windows を再インストールする場合
  【3】を押す。
  - 最初のパーティションのサイズは約 10 G バイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

④ 確認のメッセージが表示されますので、再インストールを実行するには**【Y】**を押す。

- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切ったり、**【Ctrl】**＋**【Alt】**＋**【Del】**を押すなどして、再インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

```
再インストールOS：Windows ****
ハードディスクのデータはすべてなくなります。
ハードディスクのデータをすべて消去し、Windows を再インストールしますか？
[Y,N]?_
```

⑤「再インストールを終了しました」というメッセージが表示されますので、プロダクトリカバリー DVD-ROM を取り出し、何かキーを押してコンピューターの電源を切る。

```
再インストールを終了しました。
電源を入れ直すとWindows(R) **** のセットアップが始まります。
プロダクトリカバリーDVD-ROMを取り出して電源を切ってください。
どれかキーを押すと電源が切れます。
_
```

4 セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

Windowsを正しくセットアップするために、セットアップユーティリティを必ず工場出荷時の設定に戻してください。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【**F2**】を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

②【**F9**】を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、【**Enter**】を押してください。

③【**F10**】を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、【**Enter**】を押してください。セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。

5 Windowsのセットアップを行う。（➔ 16ページ）

6 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

（パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。）

7 インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う。

（➔ 『セキュリティガイド』「ステップ**2**」）

◆ CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込む

WinDVD に CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込んでお使いになっていた場合、Windows をセットアップした後、CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを再インストールする必要があります。CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを保存しておいた CD-R などを使って再インストールしてください。

（➔ 『操作マニュアル』「第 3 章：DVD-Video を見る（WinDVD）」）

ドライブ文字を変更する

次の手順でハードディスクドライブや内蔵 CD/DVD ドライブのドライブ文字を変更することができます。

- C ドライブ（起動ドライブ）は、ドライブ文字を変更できません。
- A ドライブ、B ドライブ、C ドライブには変更できません。また、他の機器が使用中のドライブ文字やネットワークに割り当てられたドライブ文字も使用できません。
- アプリケーションソフトをインストールする前に設定してください。

◆ ハードディスクドライブのドライブ文字を変更する

① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [管理ツール] をクリックして、[コンピュータの管理]をダブルクリックする。

② [記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。

③ ハードディスクのパーティションを右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックする。
④ [変更]をクリックする。
⑤ [次のドライブ文字を割り当てる] をクリックし、新しいドライブ文字を設定して、[OK]をクリックする。
⑥ 確認メッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

◆ 内蔵CD/DVDドライブのドライブ文字を変更する

工場出荷時は、D ドライブになっています。変更方法については、19 ページをご覧ください。

ソフトウェア使用許諾書

第 1 条	権利	お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルや CD-ROM/DVD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客様に移転するものではありません。
第 2 条	第三者の使用	お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第 3 条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした 1 回に限定されます。
第 4 条	使用コンピューター	本ソフトウェアは、本コンピューター 1 台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。
第 5 条	解析、変更または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第 6 条	アフターサービス	お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第 7 条	免責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第 6 条に限ります。 本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。
第 8 条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客様および弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第 9 条	準拠法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第 10 条	輸出管理	お客様が、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

◆ 準備する

- プロダクトリカバリー DVD-ROM

◆ 次の点を確認する

- 必ず、AC アダプターを接続してください。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

データをすべて消去する

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に**【F2】**を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、左の画面で、スーパーバイザーパスワードを入力し、**【Enter】**を押してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

セットアップ確認
デフォルト値をロードしますか？
[はい]　[いいえ]

② **【F9】**を押す。
セットアップ確認の画面で[はい]を選び、**【Enter】**を押してください。

③「起動」メニューで[USB CDD]を選び、**【F6】**を押して[USB CDD]が1番目になるように設定する。

④ プロダクトリカバリー DVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。
- ディスクカバーが開かない場合：
「メイン」メニューの [CD/DVD ドライブ電源] が [オフ] に設定されていたためです。次の手順を行ってください。
【F10】を押し、確認のメッセージが表示されたら [はい] を選び、**【Enter】**を押す。（コンピューターが再起動します。）
↓
「Panasonic」起動画面が表示されている間に**【F2】**を押し、セットアップユーティリティを起動する。
↓
プロダクトリカバリー DVD-ROM をセットして、手順 ⑤ から行う。

⑤ **【F10】**を押す。
確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、**【Enter】**を押す。
セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。
以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

⑥「番号を選択してください」というメッセージが表示されますので、**【2】**を押して「2.【HDD消去】」を実行する。
(**【0】**(ゼロ)を押すと、操作を中止することができます。)
確認のメッセージが表示されます。

⑦ **【Y】**を押す。
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。
(以降の画面はすべて一例です。)

⑧「<<<スタートメニュー >>>」で**【Enter】**を押す。

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                                        (C) **** 松下電器産業株式会社
-----------------------------------------------------------------
<<<スタートメニュー>>>
  ハードディスクデータ消去ユーティリティはハードディスク上のデータを
  全て上書きすることにより消去します。
  必要なデータはバックアップを作成してください。
  メッセージに従って操作キーを選択してください。
  (次へ:Enterキー, 中止:その他のキー)... _
```

⑨ 消去にかかるおおよその時間など、メッセージの内容を確認してから**【Space】**を押す。

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                                        (C) **** 松下電器産業株式会社
-----------------------------------------------------------------
 <<<ドライブリスト>>>
 0 : ドライブ:セクター総数     :******** ( ******** )
             ディスク容量     :*****MB.

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ**分から **分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
    (はい:スペースキー, いいえ:その他キー)... _
```

⑩ メッセージの内容を確認してから**【Enter】**を押す。

```
  ハードディスクデータ消去ユーティリティ Version *.****
                                        (C) **** 松下電器産業株式会社
-----------------------------------------------------------------
 <<<ドライブリスト>>>
 0 : ドライブ:セクター総数     :******** ( ******** )
             ディスク容量     :*****MB.

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユーティリティがすべてのデータを消去するために
   およそ**分から **分かかります。
   コンピューターがAC電源で動作していることを確認してください。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
    (はい:スペースキー, いいえ:その他キー)...[はい]

(お知らせ)
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行するとデータは元に戻り
   ません。Enterキーを押すとデータ消去を開始します。
   ハードディスクデータ消去ユーティリティを実行しますか?
    (実行:Enterキー, 中止:その他のキー)... _
```

ハードディスクのデータ消去が開始されます。

- 万一、途中でデータ消去を中断する場合は、**【Ctrl】**+**【C】**を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。

⑪「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーDVD-ROMを取り出して、何かキーを押してコンピューターの電源を切る。

- 何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

● 本体仕様

機種名		CF-W4JW8AXR　　CF-W4JW8AXP
CPU ／ 2 次キャッシュメモリー		インテル® Pentium® M プロセッサ超低電圧★版 773、オンダイ L2 キャッシュ -2 M バイト[*1]、動作周波数 1.30 GHz、フロントサイド・バス 400 MHz
チップセット		インテル® 915 GMS Express チップセット
メインメモリー		標準 512 M バイト[*1] DDR2 SDRAM（最大 1024 M バイト[*1]）
ビデオメモリー		最大 128 M バイト[*1]（メインメモリーと共用）[*2]
ハードディスクドライブ		60 G バイト[*3]（Ultra ATA100）
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ内蔵（USB2.0 インターフェース接続）
		バッファアンダーランエラー防止機能（SmoothLink）搭載
連続データ転送速度[*4*5]	再生	DVD-RAM[*6]：2 倍速（4.7G バイト[*3]）/1 倍速（2.6G バイト[*3]）、DVD-R[*7]：最大 4 倍速、DVD-RW：最大 4 倍速、DVD-ROM[*8]：最大 8 倍速、+R：最大 4 倍速、+R DL：最大 4 倍速、+RW：最大 4 倍速、CD-ROM[*8]：最大 24 倍速、CD-R[*8]：最大 24 倍速、CD-RW ：最大 20 倍速
	記録	DVD-RAM[*6] 書き換え：2 倍速（4.7G バイト[*3]）、DVD-R 書き込み：1 倍速 /2 倍速 /4 倍速、DVD-RW 書き換え：1 倍速 /2 倍速、+R 書き込み：2.4 倍速 /4 倍速、+RW 書き換え：2.4 倍速、CD-R 書き込み[*9]：4 倍速 /8 倍速 /8 ～ 16 倍速 /8 ～ 24 倍速、CD-RW 書き換え：4 倍速、High-Speed CD-RW 書き換え：4 倍速 /8 倍速 /10 倍速、Ultra-Speed CD-RW 書き換え：8 倍速 /10 倍速
対応ディスク、および対応フォーマット[*5]	再生	DVD-ROM （1 層、2 層）、DVD-Video、DVD-R[*7]（1.4G バイト、3.95G バイト、4.7G バイト）[*3]、DVD-RW（Ver.1.1/1.2　1.4G バイト、4.7G バイト、9.4G バイト）[*3]、DVD-RAM[*6]（1.4G バイト、2.8G バイト、2.6G バイト、5.2G バイト、4.7G バイト、9.4G バイト）[*3]、+R（4.7G バイト）[*3]、+R DL（8.5G バイト）[*3]、+RW（4.7G バイト）[*3]、CD-Audio、CD-ROM（XA 対応）、CD-R、Photo CD（マルチセッション対応）、Video CD、CD-EXTRA、CD-RW、CD-TEXT
	記録	DVD-RAM[*6]（1.4G バイト、2.8G バイト、4.7G バイト、9.4G バイト）[*3]、DVD-R（1.4G バイト[*3]、4.7G バイト[*3] for General）、DVD-RW（Ver.1.1/1.2　4.7G バイト、9.4G バイト）[*3]、+R（4.7G バイト）[*3]、+RW（4.7G バイト）[*3]、CD-R、CD-RW
表示方式		12.1 型 TFT カラー液晶 XGA（1024 × 768 ドット）
内部 LCD 表示		1024 × 768 ドット：約 1677 万色[*10]
外部ディスプレイ表示[*11]		800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット、1280 × 768 ドット、1280 × 1024 ドット、1600 × 1200 ドット、2048 × 1536 ドット：約 1677 万色
本体＋外部ディスプレイ同時表示[*11]		800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット：約 1677 万色[*10]
無線 LAN		インテル® PRO/Wireless 2915 ABG IEEE802.11a（J52/W52/W53）/b/g 準拠（➔ 62 ページ）
LAN[*12]		100BASE-TX ／ 10BASE-T
モデム[*13]		データ：56 kbps（V.90）　FAX：14.4 kbps ／ボイス非対応（➔ 62 ページ）
サウンド機能		PCM 音源（16 ビットステレオ）、モノラルスピーカー
セキュリティチップ		TPM（TCG　V1.1b 準拠）
カードスロット		PC カードスロット（TYPE Ⅱ）× 1 スロット（CardBus 対応、許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA） SD メモリーカードスロット[*14] × 1 スロット（著作権保護技術対応）
拡張メモリースロット		DDR2 172 ピンマイクロ DIMM × 1 スロット（1.8 V ／ PC2-3200 ／ DDR2 SDRAM）[*15]
インターフェース		USB コネクター× 2（USB2.0 × 2）[*16]、モデムコネクター（RJ-11）[*13]、LAN コネクター（RJ-45）[*12] 外部ディスプレイコネクター（アナログ RGB ミニ Dsub 15 ピン）、マイク入力端子（モノラルミニジャック M3（プラグインパワー対応））、オーディオ出力端子（ステレオミニジャック M3）
キーボード／ポインティングデバイス		OADG 準拠キーボード（85 キー）、キーピッチ：19 mm（横）／ 16 mm（縦）（一部キーを除く）／ホイールパッド
電源		AC アダプターまたはバッテリーパック
AC アダプター[*17]		入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz ／ 60 Hz、出力：DC 16 V、2.5 A、電源コードは 100 V 専用

● 本体仕様

機種名	CF-W4JW8AXR　　　　CF-W4JW8AXP
バッテリーパック	7.4 V（Li-ion）、7.8 Ah
バッテリー駆動時間 [*18]	約 8 時間（エコノミーモード (ECO) 無効時）
バッテリー充電時間 [*19]	約 5 時間（電源オフ時）/ 約 6.5 時間（電源オン時）
消費電力／ エネルギー消費効率 [*20]	最大約 40 W[*21] ／ S 区分 0.00021（社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W
外形寸法	幅 268 mm ×奥行き 210.4 mm ×高さ 24.9 mm ／ 44.3 mm（前部／後部）突起部除く
質量 [*22]	約 1199 g
使用環境条件	温度：5 ℃～ 35 ℃、湿度：30 %RH ～ 80 %RH（結露なきこと）
OS[*23]	Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載（NTFS ファイルシステム）
導入済みソフトウェア [*23]	Microsoft® Internet Explorer 6 Service Pack 2 / Adobe Reader / DMI ビューアー / Microsoft® Windows® Media Player 10 / DirectX 9.0 c / Microsoft® Windows® Movie Maker 2.1 / Microsoft® .NET Framework 1.1 / ネットセレクター / SD ユーティリティ / ホイールパッドユーティリティ / オプティカルディスクドライブ文字変更ユーティリティ / オプティカルディスクドライブ省電力ユーティリティ / 省電力設定ユーティリティ / 各種プロバイダーオンラインサインアップ（hi-ho、DION）/ フォントサイズ拡大ユーティリティ / ズームビューアー / NumLockお知らせ / 無線LAN切り替えユーティリティ / Hotkey 設定 / エコノミーモード (ECO) 切り替えユーティリティ / バッテリー残量表示補正ユーティリティ / PC 情報ビューアー / マカフィー®・ウイルススキャン [*24] / goo スティック / B's Recorder GOLD8 BASIC / B's CLiP 6[*25] / B's DVD Expert（オーサリングソフト）[*26] / WinDVD™ 5（OEM 版）CPRM 対応 [*27] / DVD-MovieAlbumSE 4[*28] / Wireless Manager mobile edition 2.0[*29] / Infineon TPM Professional Package V1.7 SP4[*30] / PC-Diagnostic ユーティリティ [*31]
	セットアップユーティリティ / ハードディスクデータ消去ユーティリティ [*32]

★ 既存のインテル低電圧版に比べて、さらに電圧レベルを低下。

*1 1 M バイト =1,048,576 バイト。

*2 コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。

*3 1 G バイト =1,000,000,000 バイト。OS または一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値で G バイト表示される場合があります。ハードディスクのユーティリティなど使用時は NTFS 対応のものをご使用ください。

*4 データ転送速度は当社測定値。DVD の 1 倍速の転送速度は 1,350 K バイト / 秒。CD の 1 倍速の転送速度は 150 K バイト / 秒。

*5 CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、+R、+R DL、+RW は、書き込み状態や記録形式によっては、性能が保証できない場合があります。また、ご使用のディスク・設定・環境によっては、再生できない場合があります。
DVD-R DL /+R DL（2 層ディスク）の書き込みおよび DVD-R DL の読み出しには対応していません。

*6 DVD-RAM は、カートリッジなしのディスクまたはカートリッジから取り出せるディスク（Type2、Type4）のみ使用できます。DVD-RAM に書き込む場合は、最大 3 倍速までのディスクをお使いください。5 倍速に対応している DVD-RAM（2 ～ 5 倍速対応ディスクなど）への書き込みには対応していません。

*7 DVD-R は、4.7 G バイト（for General）の再生に対応。DVD-R（for Authoring）の再生については、ディスクアットワンス記録したものに対応しています。

*8 偏重心のディスク（重心が中央にないディスク）を使用すると、振動が大きくなり速度が遅くなることがあります。

*9 使用するディスクによって、書き込み速度が遅くなることがあります。

*10 グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約 1677 万色表示を実現しています。

*11 接続する外部ディスプレイによっては表示できない場合があります。解像度、リフレッシュレートについては、パナソニックパソコンのサポートページ（http://askpc.panasonic.co.jp/index.html）の「よくある質問」をご覧ください。

*12 コネクターの形状によっては使用できないものがあります。

*13 モデムは一般電話回線専用です。56 kbps はデータ受信時の理論値です。データ送信時は 33.6 kbps が最大速度です。

*14 容量 2 G バイトまでの Panasonic 製 SD メモリーカードの動作を確認済み。本機の SD メモリーカードスロットによる転送レートは 8 M バイト／秒です（理論値であり、実効速度とは異なります）。高速な転送レートに対応した SD メモリーカードをお使いの場合でも 8 M バイト／秒です。すべての SD 機器との動作を保証するものではありません。
マルチメディアカードは動作しません。挿入しないでください。

*15 RAM モジュールを増設する際は、DDR2 対応であることを確認してください。
JEDEC 規格の 214 ピンマイクロ DIMM は使用できません。PC2100、PC2700 の 172 ピンマイクロ DIMM は使用できません。

*16 USB 対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

*17 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 V のコンセントに接続して使用してください。（➔ 7 ページ）

*18 JEITA（社団法人　電子情報技術産業協会）バッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・システム設定により変動します。エコノミーモード (ECO) 有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約 8 割になります。（➔　28 ページ）

*19 バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。

*20 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

*21 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約 1.5 W。

*22 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

*23 本機はインストール済み OS 以外では動作保証しておりません。

*24 ご使用前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録から 90 日間無償で「ウイルス定義ファイル」のアップデートサービスおよびサポートがご利用いただけます。引き続きマカフィー®・ウイルススキャンのアップデートをご利用の場合は、マカフィー・セキュリティセンターのメッセージに従い、セキュリティサービスの延長契約（有償）をお申し込みください。

*25 プリインストールされている B's CLiP は CD-R、DVD-R、+R、DVD-RAM をサポートしていません。

*26 ビデオキャプチャー機能を使用するには、別途ビデオキャプチャーカードが必要です。（本機には、キャプチャー機能がありません）

*27 CPRM で録画されたメディア（DVD-RAM、DVD-R および DVD-RW）を再生する場合は、WinDVD に CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込んでください。（➔ 『操作マニュアル』「第 3 章：DVD-Video を見る（WinDVD）」）DVD-Audio の再生には対応していません。

*28 VR モードで DVD-RAM に録画された映像を編集するためのアプリケーションソフトです。ビデオキャプチャー機能および Dolby Digital のエンコード機能は入っておりません。CPRM で録画されたディスクの再生編集はできません。

*29 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクターTH-LB10NT/TH-LB20NT/TH-LB30NT とワイヤレス接続するときに使います。）（➔ 『操作マニュアル』「第 5 章：無線 LAN で通信する」）

*30 お使いになるにはインストールが必要です。（➔ 『セキュリティガイド』）

*31 起動方法は付属の『困ったときの Q&A』をご覧ください。（この機能は（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。）

*32 プロダクトリカバリー DVD-ROM が必要です。

● 無線 LAN

データ転送速度	IEEE802.11a：54 Mbps / 48 Mbps / 36 Mbps / 24 Mbps / 18 Mbps / 12 Mbps / 9 Mbps / 6 Mbps （自動切替）*33 IEEE802.11b：11 Mbps / 5.5 Mbps / 2 Mbps / 1 Mbps （自動切替）*33 IEEE802.11g：54 Mbps / 48 Mbps / 36 Mbps / 24 Mbps / 18 Mbps / 12 Mbps / 9 Mbps / 6 Mbps （自動切替）*33
準拠規格	ARIB STD-T66 ／ ARIB STD-T71 ／ RCR STD-33 IEEE802.11a（J52/W52/W53）／ IEEE802.11b ／ IEEE802.11g （無線 LAN 標準プロトコル）
伝送方式	OFDM 方式、DS SS 方式
有効距離 *34	IEEE802.11a：見通し約 30 m 、IEEE802.11b/g：見通し約 50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード：IEEE802.11a：34 / 38 / 42 / 46 チャンネル（J52）、 36 / 40 / 44 / 48 チャンネル（W52）、 52 / 56 / 60 / 64 チャンネル（W53） IEEE802.11b/g：1 ～ 13 チャンネル ad hoc 通信モード：IEEE802.11a：36 / 40 / 44 / 48 チャンネル IEEE802.11b/g：1 ～ 13 チャンネル
RF 周波数帯域	2.4 GHz 帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz）、5 GHz 帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz）*35

*33 IEEE802.11a/b/g 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*34 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OS などの使用条件によって異なります。

*35 IEEE802.11a 準拠の無線 LAN は、無線通信に 5 GHz 帯を使用しています。5 GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外および日本国外では使用できません。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53

● 本機のモデムは次の国または地域の規格に準拠しています。
アイスランド、アメリカ、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クロアチア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、台湾、チェコ、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク
（2006 年 1 月 1 日現在）

消耗品・有寿命部品について

コンピューターの部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・磨耗します。また、一部の部品の劣化・磨耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。
コンピューターを長く、安全に使用していただくためには、劣化・磨耗した部品を交換することが必要です。
当社では、劣化・磨耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック	• お客様ご自身で購入し、交換していただく部品です。 • 保証期間内でも有償です。
有寿命部品	ハードディスクドライブ DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ スーパーマルチドライブ LCD（液晶ディスプレイ） キーボード AC アダプター リチウム電池	• 修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 • 保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※有寿命部品の交換の目安は、事務室で 8 時間 /1 日、250 日 /1 年の使用で約 5 年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、「修理に関するご相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みの後、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
[消耗品（バッテリーパック）を除く]

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

『困ったときの Q&A』および 『操作マニュアル』「困ったときは」に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参、または修理に関するご相談窓口にご相談ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

お問い合わせの前に、必ず右ページの内容をご確認ください。

修理に関するご相談

付属の『ご使用の前に』の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話　フリーダイヤル　**0120-873029**（パナソニック）
ＦＡＸ　**(06)6905-5079**

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

（日本国内からのお問い合わせのみ）2006 年 1 月 1 日現在

◆ **詳しくは、付属の『ご使用の前に』「保証とアフターサービス」をご覧ください。**

お問い合わせの前にご確認ください。

1 お問い合わせの内容は次の項目ではありませんか？

症状	対処
電源が入らない	● RAM モジュールを増設している場合は、RAM モジュールを取り外して再度電源を入れてください。
画面に黒い点や、色が付いている点がある	● これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。詳しくは、『困ったときの Q&A』「画面表示の Q&A」をご覧ください。
・パスワードが入力できない ・アルファベットのキーを押しても数字が入力される	● ①ランプが点灯している場合は、テンキーモードになっています。【NumLk】キーを押して①ランプが点灯していないことを確認した後、再度入力してください。
Word や Excel が入っていない	● Microsoft® Office Word や Microsoft® Office Excel を使うには、Microsoft® Office Personal Edition 2003 または Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003 が必要です。付属の『ご使用の前に』をご覧ください。
画面が暗くなった	● 【Fn】+【F2】を押すと、画面を明るくすることができます。
バッテリーの駆動時間が短い（仕様に記載の駆動時間までバッテリーがもたない）	● バッテリーの駆動時間は使用環境によって大きく変わります。詳しくは、『操作マニュアル』または JEITA のホームページ（http://it.jeita.or.jp/mobile/）をご覧ください。

2 付属の『困ったときのQ&A』をご覧いただけましたか？

電源が入らない、画面が表示されないなど、問題解決の方法を記載しています。

●コンピューターの電源が入る場合：『操作マニュアル』もご覧ください。

●インターネットに接続できる場合：
「パナソニック PC のホームページ」の「FAQ（よくある質問）」もご覧ください。

① インターネットに接続する。
② [お気に入り] - [パナソニックお勧めのサイト] - [パナソニックPCのホームページ]をクリックする。
③ [FAQ（よくある質問）]をクリックする。
[FAQ（よくある質問）] がこの画面にない場合は、[サポート] - [よくある質問（FAQ）] をクリックしてください。（2006 年 1 月 1日現在）

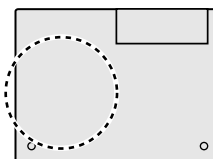
3 アプリケーションソフトウェアまたは接続している周辺機器の問題ですか？

- ソフトが起動しない、操作がわからないなどは、アプリケーションソフトのヘルプやソフトウェアに付属の説明書をご覧ください。また製造元へのお問い合わせ（電話サポートやインターネット上の FAQ など）もご利用ください。
- 周辺機器が認識されない、動かないなどは、周辺機器に付属の説明書や製造元へのお問い合わせ（電話サポートやインターネット上の FAQ など）をご利用ください。

上記を確認しても解決できない場合

必ず、機種品番をご確認のうえ、お問い合わせください。

機種品番は、本体底面の Panasonic ロゴマークの下に記載されています。

<本体底面イメージ>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理依頼表

（この用紙をコピーしてご依頼内容をご記入のうえ、保証書とともに、修理されるパーソナルコンピューターに添付していただきますようお願いいたします。）

日ごろはパナソニックパーソナルコンピューターをご愛顧いただき、まことにありがとうございます。

修理のためにお客様の商品をお預かりさせていただくにあたり、次の内容についてご承諾のうえ、必要事項のご記入をお願いいたします。

[パナソニックパーソナルコンピューターの修理をご要望されるお客様へのお願い]

1. データをバックアップのうえ消去してください ※障害により操作できない場合は、そのままお預かりします。

お客様よりお預かりいたしますコンピューターの取り扱いには細心の注意をしておりますが、ハードディスク内にデータが残っていた場合、運送途中、もしくは弊社での修理のためにハードディスク内のデータが消えることがあります。また、状況によっては、コンピューター運送中におけるハードディスク内のデータ紛失・漏洩などが生じることも考えられます。このような場合、弊社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。

したがいまして、常日ごろから定期的にハードディスク内のデータのバックアップをお取りいただきますとともに、修理に出される前には万一に備え、お客様ご自身にて必要なデータのバックアップをお取りいただいたうえで消去することをお願いいたします。

内蔵セキュリティチップ（TPM）をお使いの場合は、『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

2. ハードディスクの初期化についてご確認ください

お預かりいたしますコンピューターの故障状況によりましては、修理のためハードディスクを初期化することが必要になる場合があります。この初期化について、次のとおり、お客様のご同意の確認をさせていただきますので、ご記入いただきますようご協力をお願いいたします。

なお、初期化により、ハードディスク内に記録されているお客様のすべてのデータおよびソフトウェアが消去されますことをご了承ください。

3. パスワードを解除しておいてください

症状を確認することができるように、起動時のパスワードとハードディスク保護を無効にしておいてください。

ご依頼日：20　　年　　月　　日

フリガナ お名前		電話番号　（　　　）　　－
		FAX 番号　（　　　）　　－
ご住所	〒	
商品品番	（製造番号：　　　　）	お買い求め年月日　　年　　月　　日
お買い求めの販売店名		電話番号　（　　　）　　－

●故障内容を教えてください：以下に ✓ を入れてください
□起動しない　□画面が表示されない　□エラー画面が表示される　□その他

●具体的な故障内容をご記入ください
①どのような症状ですか（できるだけ詳しくご記入ください）

②その症状はどんな操作をしたときに起こりますか

③症状の発生頻度を教えてください：以下に ✓ を入れてください
□常時　□日に数回　□週に数回　□不定期に　□過去に発生した

●ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去はお済みですか：以下に ✓ を入れてください
□実施した　□実施していない（上記のお願い事項 1. をご確認ください）

●「ハードディスクの初期化について」：以下に ✓ を入れてください
□同意する　□同意しない（修理することができず、そのままご返却させていただく場合があります）

●有償修理のお客様へ（無料修理のお客様は記入不要です）
修理限度額：以下に ✓ を入れてください
□なし　□ 3 万円（税込）以下　□ 5 万円（税込）以下　□ 8 万円（税込）以下　□ ____ 万円（税込）以下

ハードディスク内のデータについて
【コンピューターの障害やお客様にてハードディスク内のデータ消去ができない場合に適応】
コンピューターの修理を行う際、症状確認・解析等でハードディスク内のデータファイルを必要最低限の範囲で開くことや、ハードディスクを交換することがございます。これらハードディスク内のデータはお客様の秘密情報として適切な管理を行い、第三者に開示、漏洩、公表することはございません。

- Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows ロゴ、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentium は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- PhoenixBIOS は、Phoenix Technologies Ltd. の商標または登録商標です。
- SD ロゴは商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- McAfee、VirusScan およびマカフィーは米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
- WinDVD は、InterVideo Incorporated の商標です。
- B's Recorder および B's CLiP は、株式会社ビー・エイチ・エーの登録商標です。
- SmoothLink は、松下電器産業株式会社の商標です。
- ホイールパッドは、松下電器産業株式会社の登録商標です。

重要なお知らせ

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「守って快適に」（➔ 44 ～ 48 ページ）の内容に注意してください。

- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り替えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
- 漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

日本国内で無線 LAN をお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

5 GHz 帯の無線 LAN をお使いになる場合のお願い

5 GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外で使用できません。また、日本国外では使用できません。（➔ 62 ページ）

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

さくいん

本書に記載がない説明は、『操作マニュアル』(➔ 12 ページ）や、付属の『困ったときの Q&A』に記載されていることがありますので、そちらもご覧ください。

Panasonic®
パーソナルコンピューター CF-W4 シリーズ取扱説明書

愛情点検	長年ご使用のコンピューターの点検を！			
	こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った		このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

松下電器産業株式会社 IT プロダクツ事業部

〒 570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

HS0106-0
DFQM5622ZA